

IRIS OHYAMA

LUCA

地上／BS／110度CSデジタル／
BS4K／110度CS4K

4Kチューナー内蔵液晶テレビ
型番

LT-43D6210B

LT-50D6210B

LT-55D6210B

LT-65D6210B

LT-75D6210S

取扱説明書

WEB版詳細ガイド

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
付属品	5

準備と使いかた

各部の名称	6
準備	11
かんたん設定をする	19
基本的な使いかた	21
通信設定をする	22
メニュー	25
設定	29
録画	33

こんなときは

こまったときは・・・	42
故障かな？と思ったら	44
お手入れ	47
保証とアフターサービス	48
システムアップデートについて	49
仕様	50
商標	51

この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

※ 記載のないものはすべてLT-43D6210Bの
ものです。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。安全にご使用
いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みにな
った後は、大切に保管してください。

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや移動の際は、必ず電源プラグ
をコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 交流100V以外では使わない
- 海外で使えない
火災・感電の原因になります。
本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発
電機、電圧の異なる海外の電源では使用しな
いください。

- 乳幼児に電源プラグを触らせない
けがや感電の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする、煙が出ている
 - ・ 内部に水や異物が入った
 - ・ 本製品を落としたり、本製品の一部を破損
した
 - ・ 正常に動作しない（画面が映らない、音が出
ない）
 - ・ 電源コードやプラグに傷がある→使用を中止し、お買い上げの販売店または
アイリスコールへお問い合わせください。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない



アースを
接続

【LT-75D6210Sのみ】

- 電源プラグはアース線を接続してからコ
ンセントに差し込む
アース線を接続しないと、漏電したときに感
電の原因になります。
アース線を接続できないコンセントの場合は
販売店または電気店にご相談ください。
電源コードを抜くときは、先に電源プラグを
抜いてからアース線を外してください。



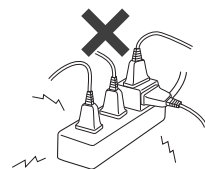
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電
源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない

- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張
る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込む
などしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因にな
ります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
コンセントから電源プラグを抜く
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、アイリスコー
ルへお問い合わせください。

- コンセントや延長
コードなどの定格を
超える使いかたをし
ない



取り扱いについて



- 通風孔をふさがない
布をかけたり、壁などに密着して、通風孔を
ふさがないでください。過熱して火災や感電
の原因になります。
- ・ 密閉したラックの中に入れないでください
- ・ じゅうたんや布団のような柔らかいものの
上に置かないでください
- ・ 本製品の設置は周囲から10cm以上の間隔
を空けてください



- **分解・修理・改造しない**
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- **内部に異物や水分を入れない**
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。
・通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください
・本製品の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください
・水がかかるような場所では使用しないでください



- **乾電池の液がもれたときは素手で液に触れない**
失明の原因になります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服に付いたときも、やけどやけがの原因になります。すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

設置について



- **不安定な場所に設置しない**
落下すると、死亡や重大なけがの原因になります。
特に子どもに対する傷害は、多くの場合、以下の予防処置をすることで回避できます。
本製品を新規設置する場合、また使用中の本製品を移動する場合も、同様に以下の注意を払ってください。
・テレビ台を使用するときは、テレビの設置面が平らで、十分に強度があり、ぐらつかないものを使用する
・台に載せるときは、テレビの脚がテレビ台からはみ出さないようにする
・背の高い台に乗せるときは、テレビと家具の両方に転倒防止処置をする
・テレビの下に、布など不安定になるものを敷かない
・テレビを操作するために台の上によじ登ると危険であることを子どもに教え、実際によじ登らないように注意する



- **台などに設置するときは、必ず付属のスタンドを取り付ける**
転倒して、重大なけがの原因になります。付属以外のスタンドなどは使用しないでください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- **電池を入れるときは、極性表示（⊕と⊖の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる**
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

- **長期間使用しないときは電池を取り出しておく**
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



- **金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない**
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- **指定以外の電池は使用しない**
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。
- **乾電池は絶対に充電しない**
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。
※充電式電池を除く。



分解禁止

- **分解しない**
皮膚や衣服を損傷することがあります。

取り扱いについて



- **液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない**
液晶パネルが割れてけがの原因になります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因になります。
万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低15分以上洗浄した後、医師の診察を受けてください。



プラグを抜く

- **長期間使わないときは、電源プラグを抜く**
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- **湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない**
火災や感電の原因になります。

使用上の注意

● 液晶パネルについて

- ・液晶パネルには、画面の一部に欠点（黒い点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- ・液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、アイリスコールへご相談ください。

● 本製品の温度について

- ・本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や本体背面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

● 輸送・設置について

- ・本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しで輸送しないでください。
- ・本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースを空けてください。

● 本書の表記と内容について

- ・本製品の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- ・本書に記載されている本体や画面などのイラストは、実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

● ACASチップについて

- ・本製品はACASチップを内蔵しており4K放送を含むデジタル放送が受信できます。（ACASチップはB-CASカードの機能も備えています。）
- ・ACASのID番号は、[メニュー]>[お知らせ]>[CAS情報]をご覧ください。
[メニュー]を表示するには、を押してください。→P26

● アンテナについて

- ・地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。
- ・BS・110度CSおよびBS 4Kの右旋のデジタル放送（NHKおよび無料の民放テレビ放送）を受信するには、BS・110度CS用アンテナが必要です。
- ・BS 4Kおよび110度CS 4Kの左旋のデジタル放送を受信するには、左旋のデジタル放送に対応したアンテナ・混合器・ブースター・分波器・分配器が必要です。

廃棄するときは

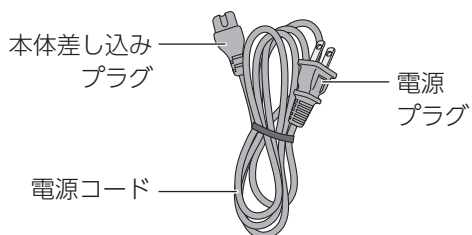
- ・本製品は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
 - ・本製品を廃棄するときは、個人情報の消去をしてください。
([メニュー]>[設定]>[設定初期化]>[設定情報リセット]>[すべての設定の初期化])
[メニュー]を表示するには、を押してください。→P26
 - ・有料放送・ネットワークサービスなどを契約している場合は、上記の方法で情報は消去されないの、契約した放送局に連絡してください。
-

付属品

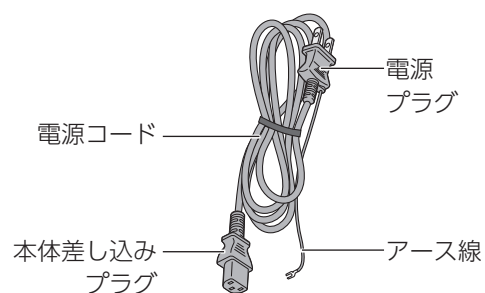
取扱説明書×1、
保証書×1



電源コード×1
(LT-75D6210S以外)



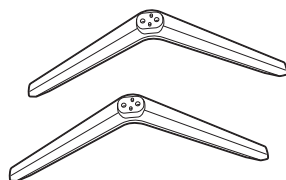
電源コード×1
(LT-75D6210S)



リモコン×1
単4形乾電池×2 (テスト用)



スタンド×2 (左右部)



※ LT-75D6210Sはスタンドの形状が異なります。

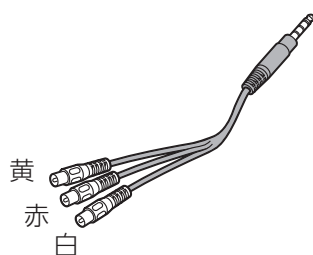
スタンド固定用ねじ×4



スペーサー×2
(LT-75D6210Sのみ)



3IN1 AVケーブル×1



転倒防止取り付けパーツ×2
(LT-75D6210Sのみ)



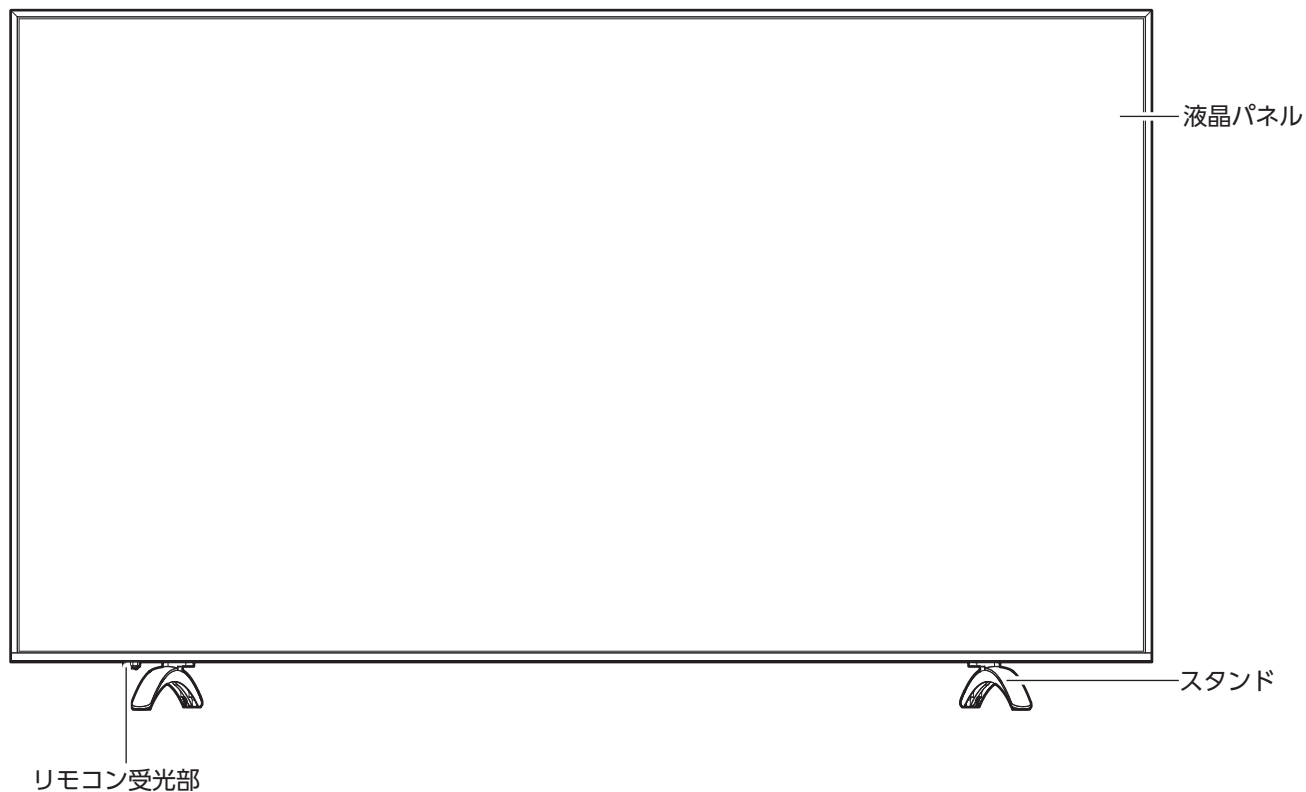
壁掛けねじ×2
(LT-75D6210Sのみ)



各部の名称

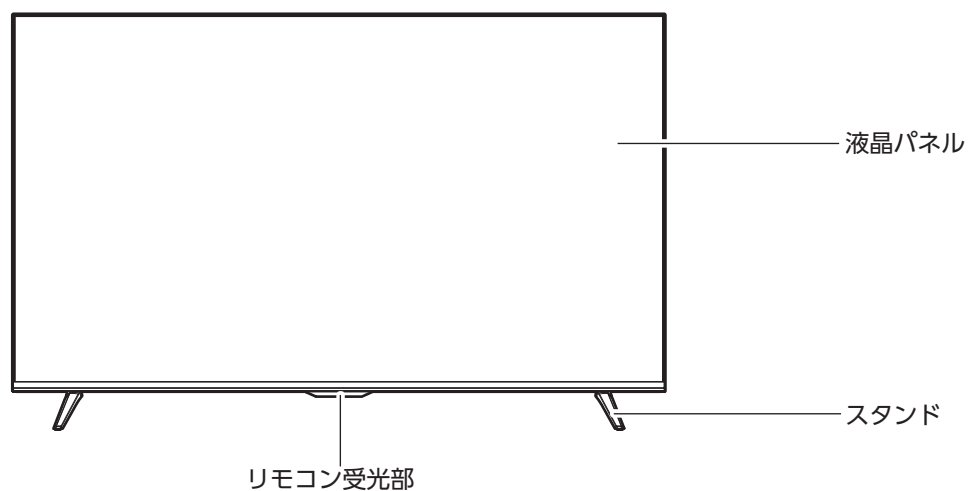
本体前面

【LT-75D6210S】



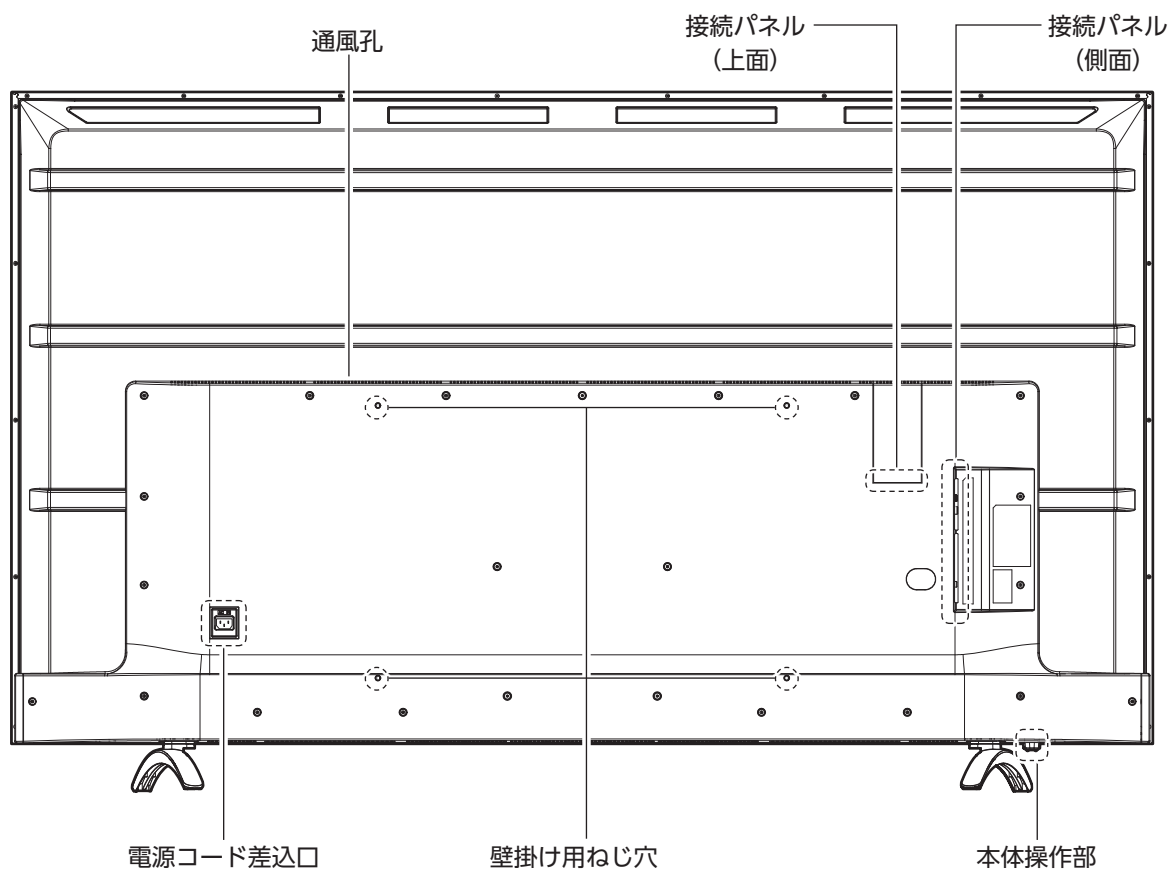
【LT-65D6210B】 【LT-55D6210B】 【LT-50D6210B】 【LT-43D6210B】

※ イラストはLT-43D6210Bです。

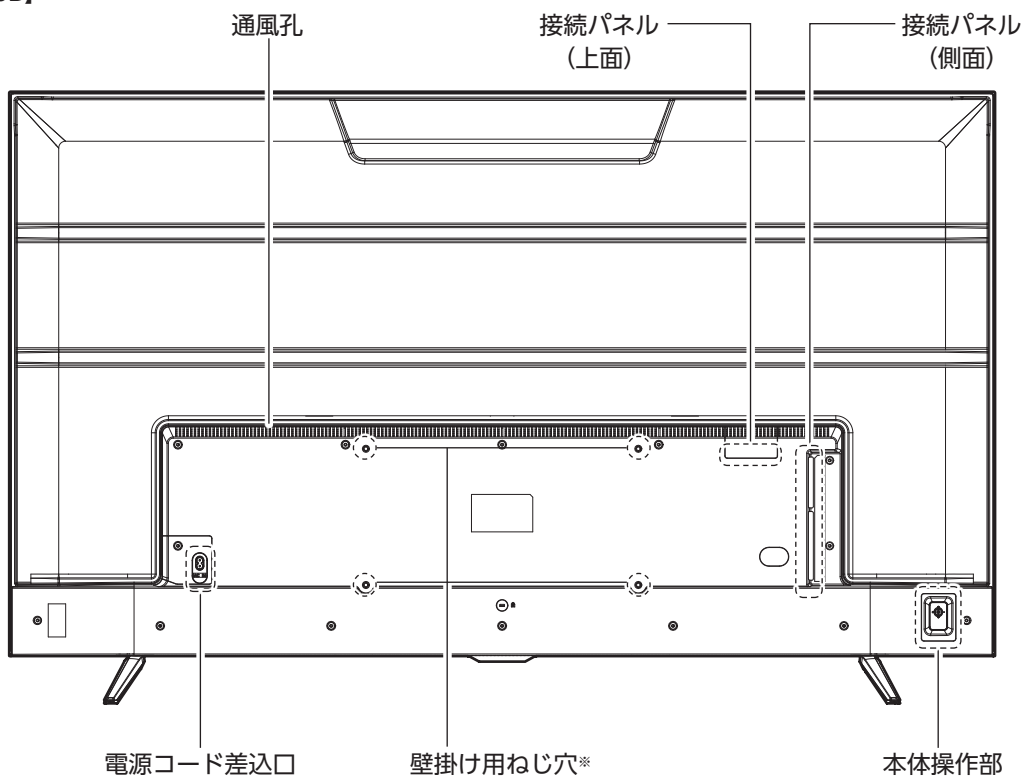


本体背面

【LT-75D6210S】

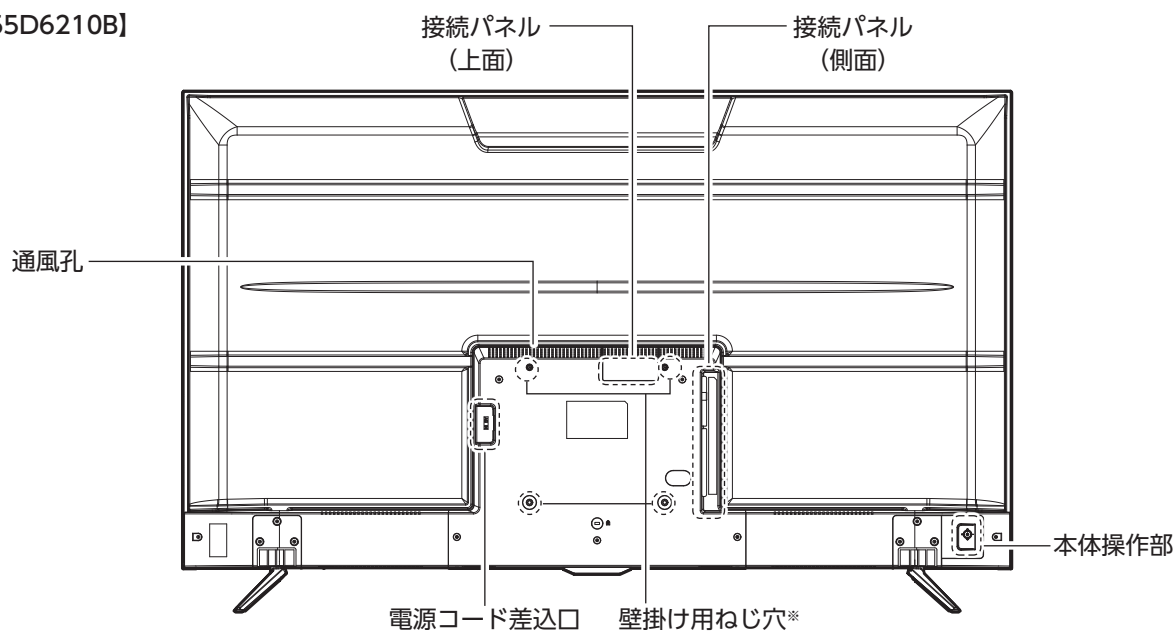


【LT-65D6210B】

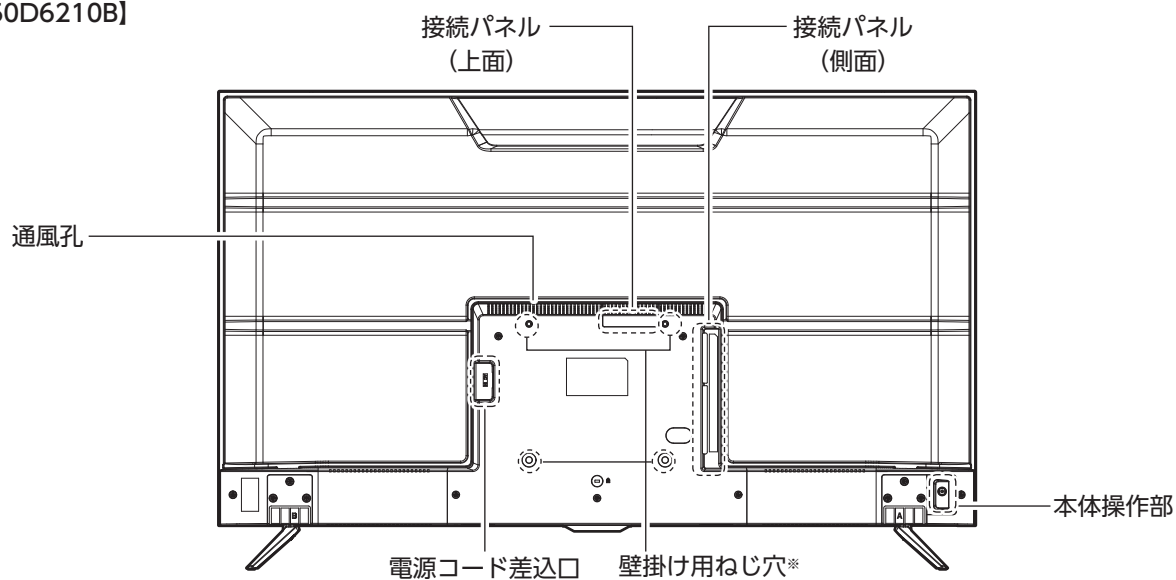


※ 転倒防止取り付けパーツと壁掛けねじが取り付けられています。

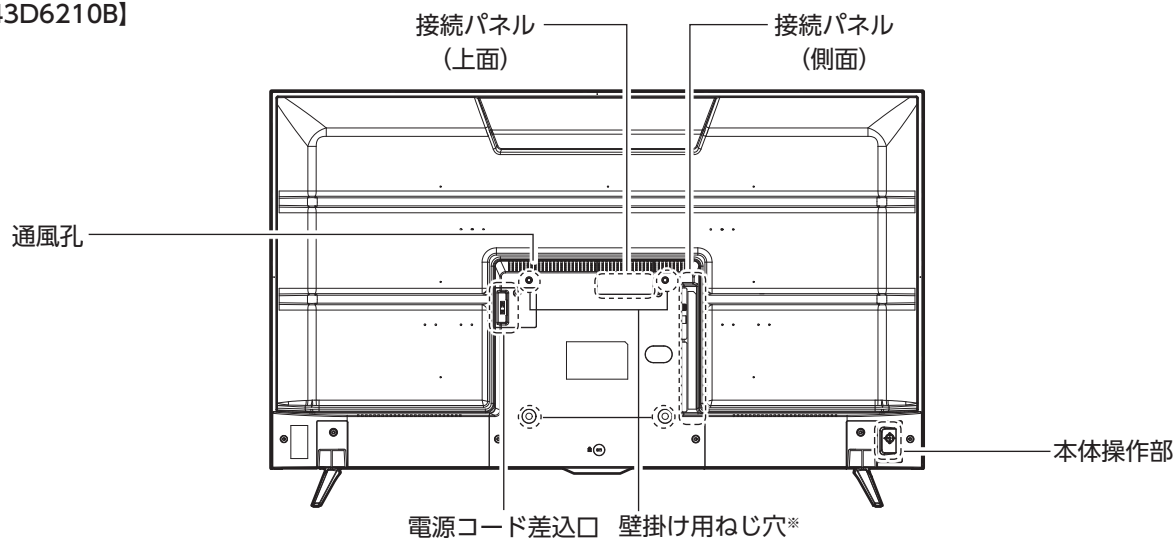
【LT-55D6210B】



【LT-50D6210B】



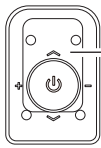
【LT-43D6210B】



※ 転倒防止取り付けパーツと壁掛けねじが取り付けられています。

本体操作部

【LT-75D6210S】



マルチ操作ボタン
長押しすると本体の電源が入ります。
左右に倒すと音量＋／－、
上下に倒すとチャンネルが切り換わります。

【LT-65D6210B】 【LT-55D6210B】 【LT-50D6210B】 【LT-43D6210B】



マルチ操作ボタン
長押しすると本体の電源が入ります。
左右に倒すと音量＋／－、
上下に倒すとチャンネルが切り換わります。

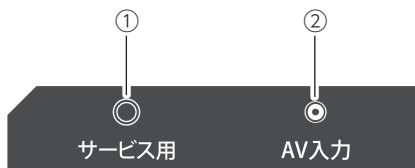
接続パネル

【接続パネル（側面）】



- ①：LAN端子
ルーターに接続したLANケーブルとつなぎ、テレビをネットワークに接続します。
- ②：光デジタル音声出力端子
AVアンプやデジタルレコーダーなどの光デジタル音声入力端子のある機器に接続して音声を楽しめます。
- ③：HDMI1～3入力端子
HDMIケーブルで機器を接続するときに使用する端子です。
※ HDMI2端子はARC対応です。ARC対応のHDMI端子を備えたテレビ用スピーカーやAVアンプなどを接続して音声を楽しめます。
- ④：USB3.0端子（録画用）
USBハードディスクと接続して番組を録画できます。
- ⑤：USB2.0端子（サービスサポート用）
サービスサポートの際に使用する端子です。
ふだんは使用できません。
- ⑥：BS・110度CSアンテナ入力端子
BS・110度CSデジタル放送を受信するためのアンテナケーブルを接続する端子です。
- ⑦：地上デジタルアンテナ入力端子
地上デジタル放送を受信するためのアンテナケーブルを接続する端子です。
- ⑧：音声出力端子（3.5mmステレオミニジャック）
ヘッドホンなど3.5mmステレオミニプラグのある機器に接続して音声を楽しめます。

【接続パネル（上面）】



- ①：サービス用端子
サービスマンテナンスで使用します。
ふだんは使用できません。
- ②：AV入力端子
映像とステレオ音声を出力する機器（黄：映像、赤：右音声、白：左音声）と接続する場合は、片側が3極ミニプラグの3IN1 AVケーブル（付属品）を使用してください。

リモコン



電源ボタン

テレビの電源を入／切します。



画面表示ボタン

視聴している番組名を表示します。
3回押すと時計を常時表示します。



入力切換ボタン

視聴する入力を切り換えます。



放送選択ボタン

受信する放送を選びます。



録画一覧ボタン

録画一覧を表示します。



番組表ボタン

番組表を表示します。



戻るボタン

操作画面や番組表、機器設定などで、
1つ前の画面に戻ります。



音声設定ボタン

視聴時の音声に関する設定ができます。



▲▼◀▶ボタン

操作画面や番組表、設定などで、
項目を移動します。



決定ボタン

▲▼◀▶ボタンで選択した項目を
決定します。



再生



録画



30s スキップ

外付けUSBハードディスクを接続して番組を録画・再生するときに使用します。

→P36、41

予約一覧ボタン

予約一覧を表示します。

字幕ボタン

字幕を表示します。

3桁入力ボタン

3桁の数字でチャンネルを選局します。

dデータボタン

データ放送を表示します。

1 ~ 12 : 数字ボタン

視聴するチャンネルの選択や数字の入力
に使用します。



チャンネルボタン

チャンネルを順に切り換えます。

メニューボタン

メニュー画面を表示します。 →P26

消音ボタン

音声を消します。もう一度押すか、
操作すると消音は解除されます。



音量+ / - ボタン

音量を調節します。

青 赤 緑 黄 : カラーボタン

(青・赤・緑・黄)

各色のボタンに対応する機能を選択できます。

音声切換ボタン

2か国語／ステレオなど、音声を切り換えます。

オフタイマーボタン

オフタイマーを設定します。

ビデオ HDMI1 HDMI2 HDMI3 : 入力ボタン

各ボタンの入力に切り換えます。



準備

リモコンの準備

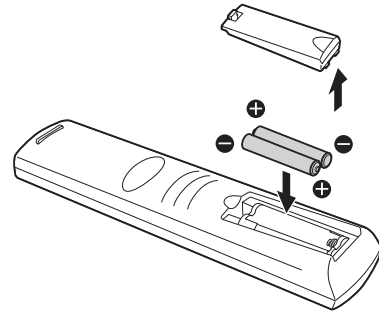


注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。電気が逆流して火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れかたが正しくないと、火災の原因になります。
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 絶対に火の中に入れてください。
- 直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池の入れかた

- 1 背面カバーを開ける
- 2 単4形乾電池を指定の向きに入れる（2個）
- 3 背面カバーを閉じる



！ お願い

- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則にしたがってください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

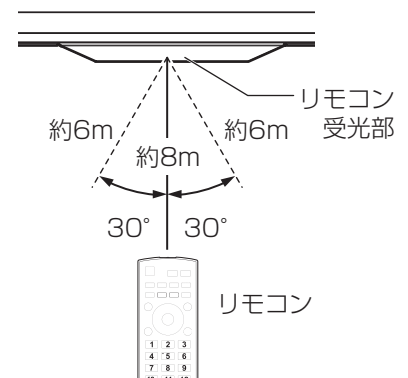
リモコンで操作できる範囲

リモコンの赤外線発光部を本体のリモコン受光部に向けて、直線：約8m以内、左右：30°／約6m以内の範囲で操作できます。



ポイント

- リモコン操作のコツ
リモコン受光部の正面から操作してください。
リモコンと本体のリモコン受光部の間にものを置かないでください。



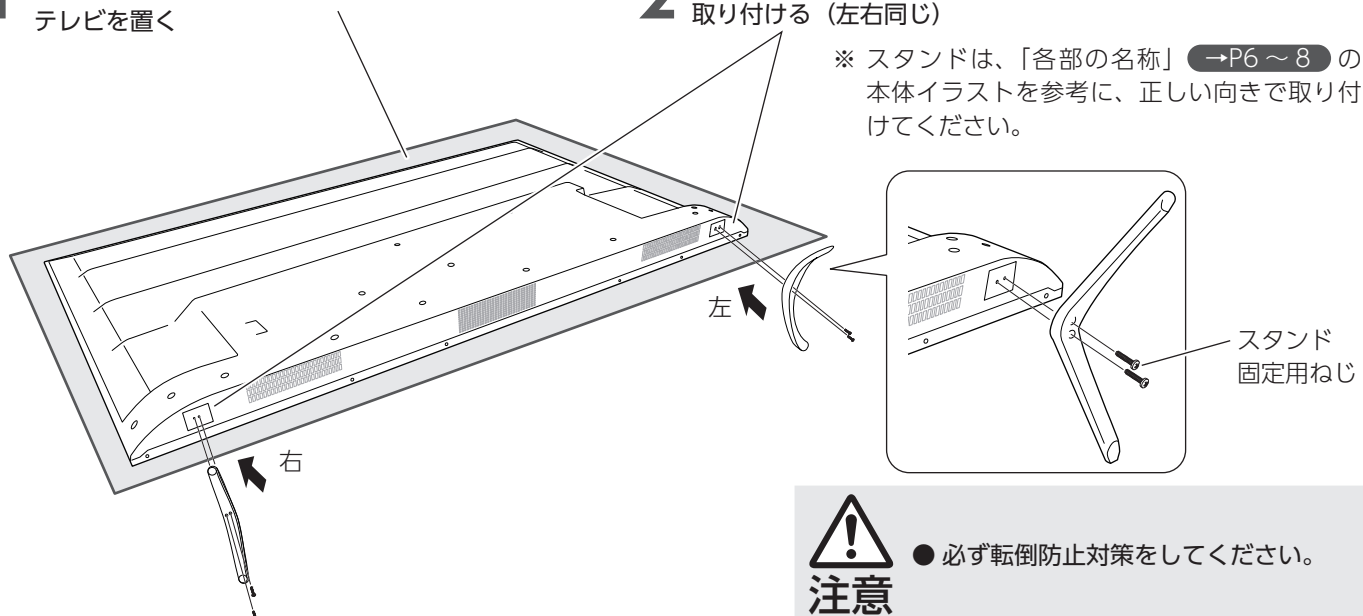
スタンドの取り付け

① お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。
- 本製品には、液晶パネルに保護シートが貼り付けられています。ご使用前にゆっくりと剥がしてください。

1 毛布を敷いた台の上に液晶パネルを下向きにしてテレビを置く

2 付属のスタンド固定用ねじでスタンドを本体に取り付ける (左右同じ)



壁掛けで使用するとき

LT-75D6210S以外の製品は、市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。
LT-75D6210Sのみ、付属の壁掛けねじをご使用ください。スペーサーは上側2か所のねじ締め部に使用します。



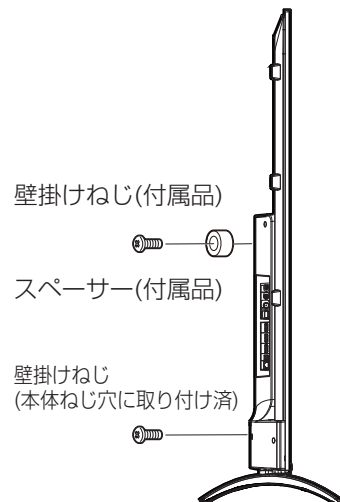
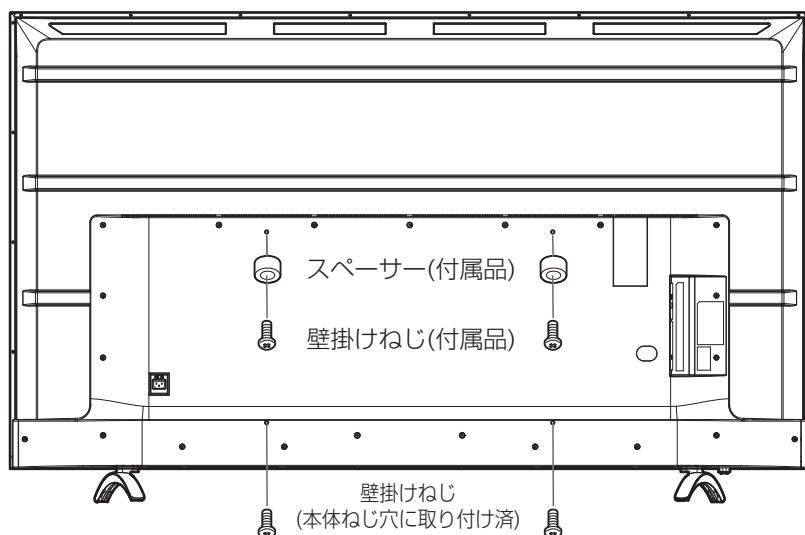
注意

- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者に依頼してください。
専門の業者以外が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だった場合、テレビが落下して、大けがの原因になります。

① お願い

- テレビを取り付ける壁の強度には十分注意してください。
- 壁掛けで使用するときは、スタンドを外してください。
- 壁掛け金具については、仕様→P50を参照して、ねじ穴の寸法が合うものを使用してください。
- 指定以上の長いねじは使用しないでください。製品の内部を破損するおそれがあります。

【LT-75D6210S】



アンテナの接続

！ お願い

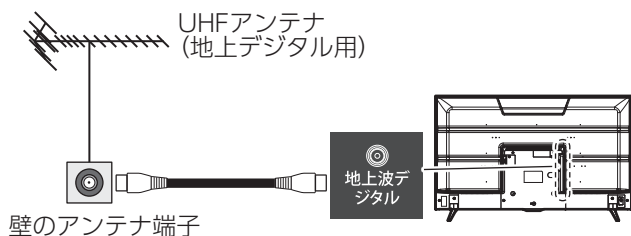
- アンテナを接続する前に、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグは、形状によってはアンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
- 信号の受信レベルは、天候の影響などにより変動します。アンテナを設置するときは、アンテナレベルを確認し、アンテナの調整、ブースターの追加などを行ってください。
- ケーブルテレビやインターネット配信などで地上デジタル放送を視聴するには、ケーブルテレビ会社やインターネット配信の会社の説明にしたがってください。
- すでに設置してあるアンテナを使用する場合は、使用する場所やアンテナの設置状況によって、取り換えや調整、ブースターの設置などが必要になることがあります。
- アンテナや、接続に必要なアンテナケーブルは付属していません。使用するアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切なケーブルを使用してください。

イラスト内のケーブルについて

-  : アンテナケーブル (同軸ケーブル)
 : アンテナケーブル (BS・110度CS4K対応同軸ケーブル)

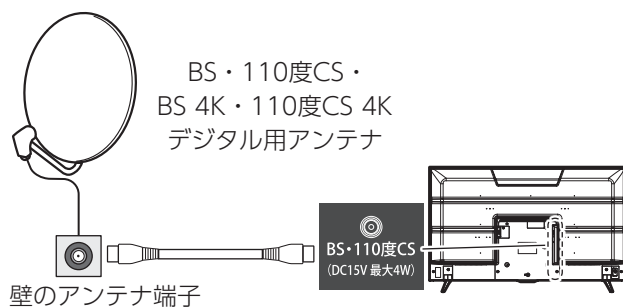
地上デジタル放送

- 地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。



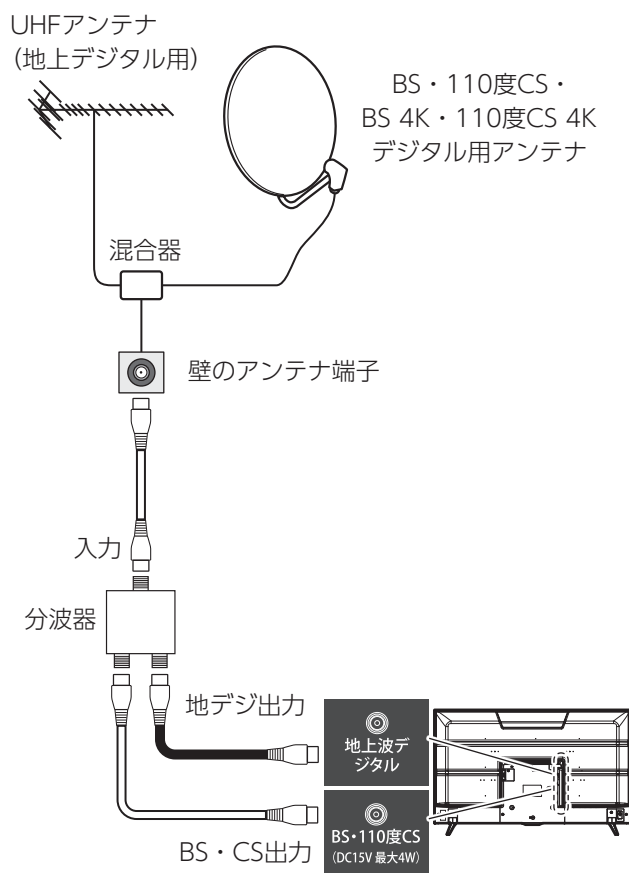
BS・110度CSデジタル放送

- ・BS・110度CSデジタルおよびBS 4Kの右旋のデジタル放送（NHKおよび無料の民放テレビ放送）を受信するには、BS・110度CS用アンテナが必要です。
- ・110度CSデジタル放送を受信するには、110度CSデジタル対応のケーブルを使用してください。
- ・110度CSデジタル放送を受信して、ブースターやBS・110度CS用分配器を使用する場合は、110度CSデジタル放送（周波数2,150MHz）に対応した機器を使用してください。
- ・BS 4Kおよび110度CS 4Kの左旋のデジタル放送を受信するには、左旋のデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースター・混合器・分配器・分波器・ケーブルなども左旋の帯域に対応したものを使用してください。
- ・BS・110度CS・BS 4K・110度CS4Kデジタル用アンテナには、必要に応じて、本製品のアンテナ端子から電源を供給できます。アンテナへの電源供給を設定するには、**BS/CS 4K** > [メニュー] > [設定] > [設置設定] > [アンテナ設定] でアンテナ電源を[アンテナ電源：テレビ連動]に切り換えてください。**BS/CS 4K** > [メニュー] > [お知らせ] > [アンテナ受信レベル]でアンテナ電源を[アンテナ電源：テレビ連動]に切り換えても設定できます。[メニュー]を表示するには、**X**を押してください。→P26
- ・アンテナに電源を供給する場合は、ブースターや混合器・分配器・分波器などは、電流通過型を使用してください。



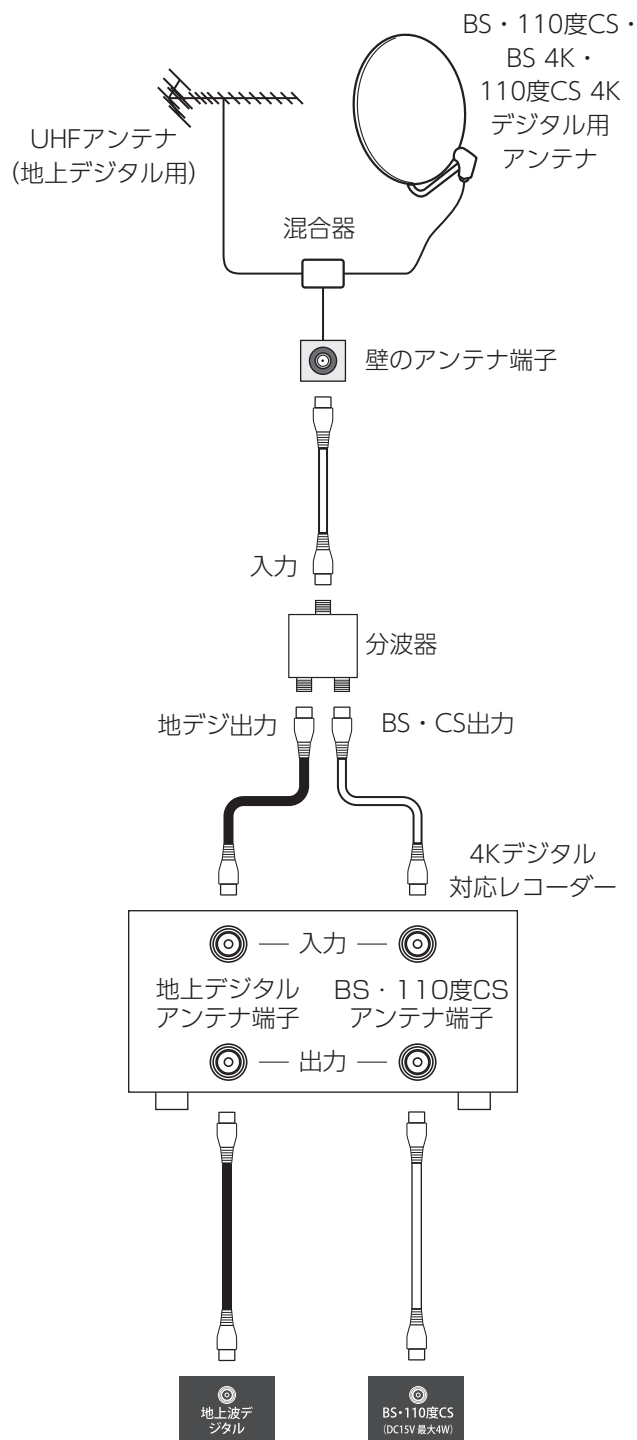
地上デジタルとBS・110度CSデジタルが、 1本のケーブル（または1個の壁のアンテナ端子） にまとめてある場合

- 地上デジタル用アンテナと、BS・110度CS・BS4K・110度CS 4Kデジタル用アンテナが、混合器を使用して1本のケーブル（1個の壁のアンテナ端子）にまとめてある場合は、分波器で2本のケーブルに分け、本製品の地上デジタル用アンテナ端子とBS・110度CSデジタル用アンテナ端子に接続してください。
- アンテナに電源を供給する場合は、ブースターや混合器・分配器・分波器などは、電流通過型を使用してください。



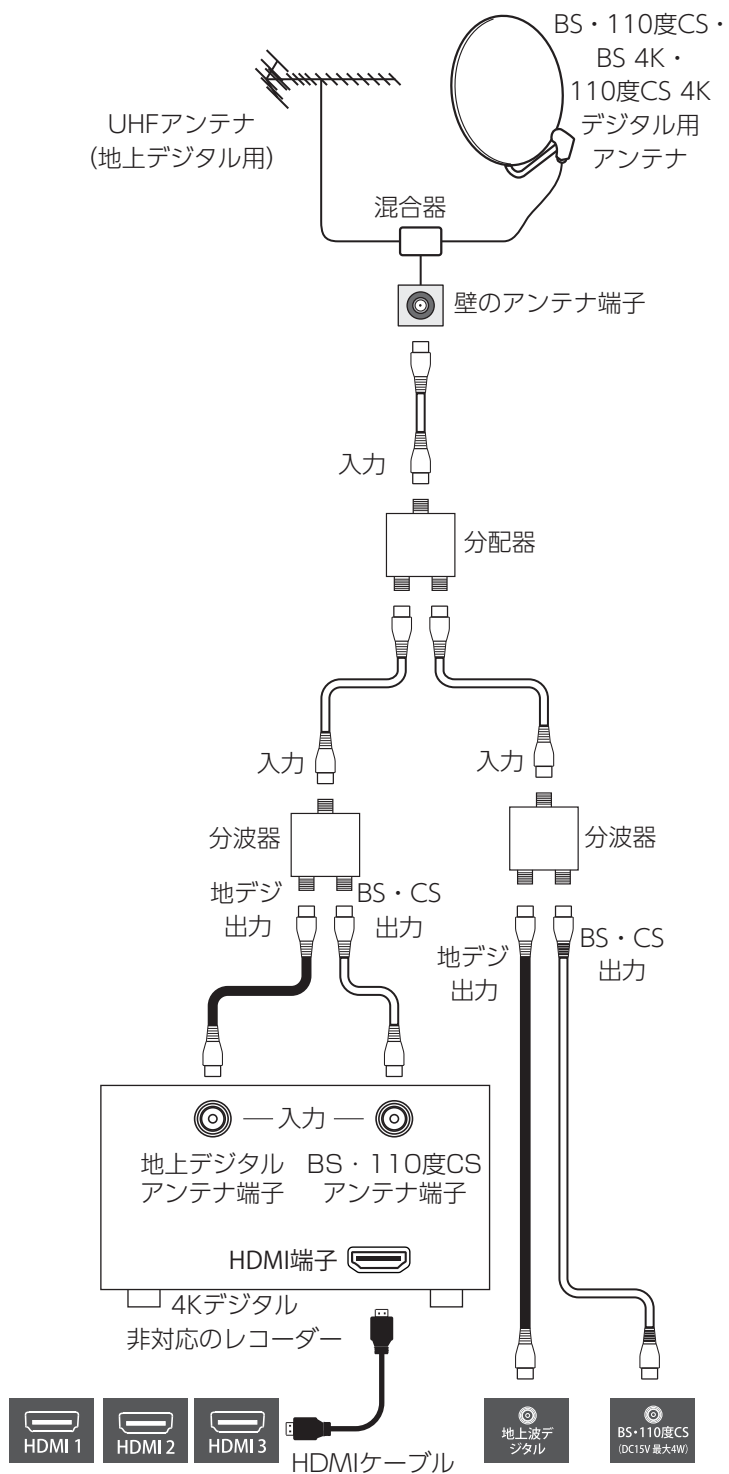
レコーダーをつなぐとき (4Kデジタル放送に対応したレコーダーの場合)

※ レコーダーに録画した番組を再生して視聴するには、レコーダーのHDMI出力端子と本製品のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。 →P17



レコーダーをつなぐとき (4Kデジタル放送非対応のレコーダーの場合)

※ レコーダーに録画した番組を再生して視聴するには、レコーダーのHDMI出力端子と本製品のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。→P26



電源の接続



- LT-75D6210Sは電源コードのアース線を接地してください。

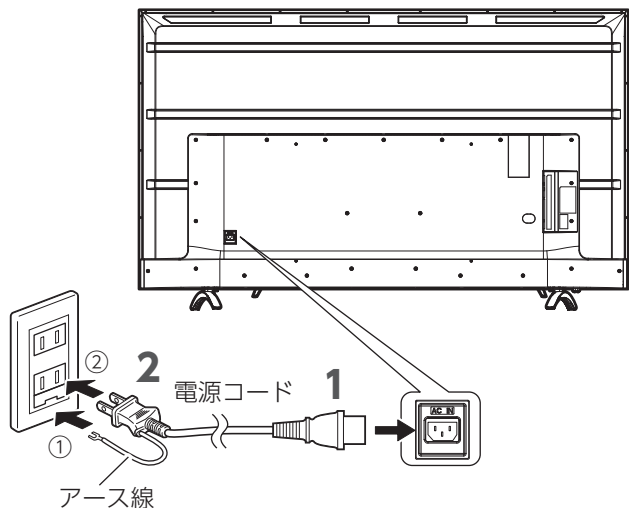


- 電源プラグは、すぐに抜くことができるように、手の届く位置のコンセントに接続してください。
- 付属以外の電源コードを使用しないでください。
- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

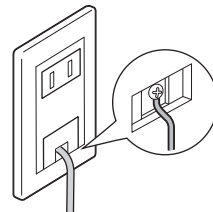
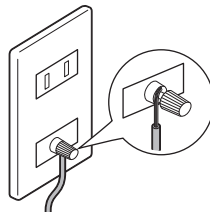
1 電源コードの本体差し込みプラグを本体背面の電源コード差込口に差し込む

【LT-75D6210S】

2 アース線を接地した後、電源プラグをコンセントに差し込む

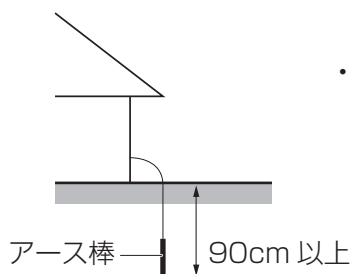


アース端子付きコンセントがある場合



- ・アース線先端の導線部分を、アース端子に差し込んで固定します。
- ・ふた付きの場合はふたを開けて、つないでください。

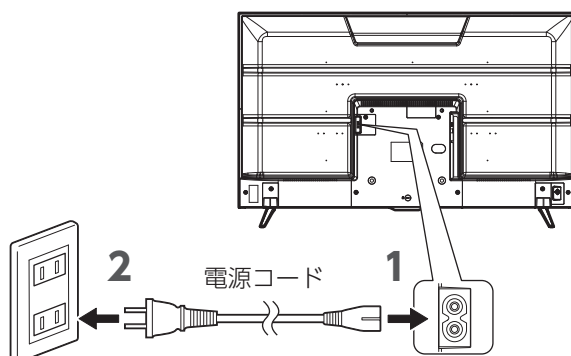
アース端子付きコンセントがない場合



- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事に相談してください。

【LT-65D6210B】 【LT-55D6210B】
【LT-50D6210B】 【LT-43D6210B】

2 電源プラグをコンセントに差し込む

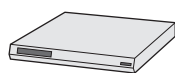


外部機器の接続

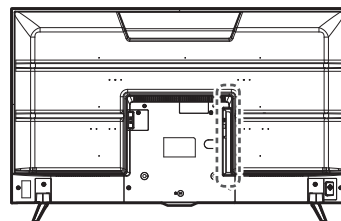
■ ブルーレイレコーダーやパソコンをHDMIに接続する場合

デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。HDMI出力端子のある機器と、HDMIケーブルで接続してください。パソコンを接続するとパソコンモニターとして使用できます。接続する機器の取扱説明書を確認のうえ、接続してください。

ブルーレイレコーダーなど



HDMIケーブル



パソコンなど



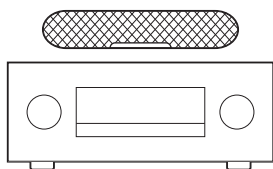
ポイント

- 4K映像を再生して本製品で視聴する場合は、「4K対応HDMIケーブル」として認証されたものを使用してください。
- DVD・ブルーレイレコーダーなどでデジタル放送を録画するには、アンテナの接続が必要です。 →P14、15

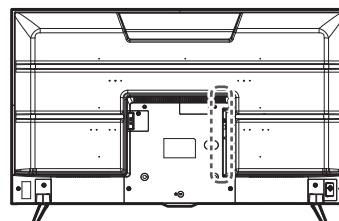
■ ARC対応した機器をHDMI（ARC）に接続する場合

ARC対応のHDMI端子を備えたテレビ用スピーカーやAVアンプなどに音声を出力する場合は、本製品のHDMI2（ARC対応）入力端子と、外部機器のARC対応HDMI端子を、ARC対応のHDMIケーブルで接続してください。

サウンドスピーカーなど



HDMIケーブル



ARC対応テレビ用スピーカー
AVアンプなど

- ・ HDMI 2（ARC対応）入力端子に接続した機器で、音声を再生するには、[メニュー]>[HDMI機器操作]>[スピーカー選択]で[入]を選んでください。
- ・ AVアンプでサラウンド音声を再生、2チャンネルのオーディオアンプやサウンドスピーカーで音声を再生するには、[メニュー]>[設定]>[音声設定]>[デジタル音声出力]で、[PCM]を選んでください。 →P30 [メニュー]を表示するには、 を押してください。 →P26



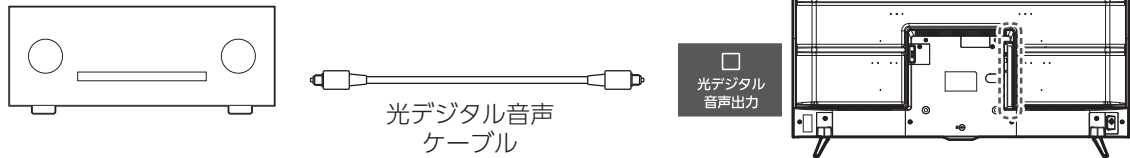
ポイント

- 接続した機器の音量は、テレビのリモコンで操作できるようになります。

■ AVアンプなどを光デジタル音声出力端子に接続する場合

外部機器の光デジタル音声入力端子と本製品の光デジタル音声出力端子を、光デジタル音声ケーブルで接続してください。

AVアンプ オーディオアンプなど



- ・ AVアンプでサラウンド音声を再生したり、2チャンネルのオーディオアンプやサウンドスピーカーで音声を再生したりするには、[メニュー]>[設定]>[音声設定]>[デジタル音声出力]で、[PCM]を選んでください。 →P30
- [メニュー]を表示するには、**メニュー**を押してください。 →P26

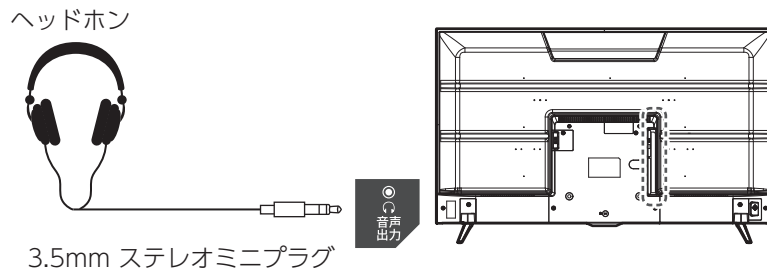


ポイント

- 光デジタル音声ケーブルの端子は、角型を使用してください。(光デジタル音声ケーブルには、角型とミニの2種類があります)
- 再生する音量は接続した機器で調節してください。
- テレビから音声がでないようにするには、テレビの音量を下げてください。
- 番組によっては、デジタル音声が出力できない場合があります。

■ ヘッドホンなどを音声出力端子に接続する場合

- ・ ヘッドホンで音声を聴くには、ヘッドホンのプラグ (3.5mmステレオミニプラグ) を、本製品の音声出力端子に接続してください。(4極のプラグには非対応)



- ・ 音声出力端子に接続した機器の音声の調整は[メニュー]>[設定]>[音声設定]>[ヘッドホン設定]で調整してください。 →P30
- [メニュー]を表示するには、**メニュー**を押してください。 →P26



ポイント

- ※ ヘッドホンなどを接続すると音量が大きくなる場合があります。
- ※ 音声出力端子にプラグを接続したときは、テレビ本体のスピーカーからは音声は出力されません。
- ※ 光デジタル音声ケーブルでサウンドスピーカーなどから音声を出力している場合は、音声出力端子にプラグを接続してもテレビ本体からの音声は出力されます。

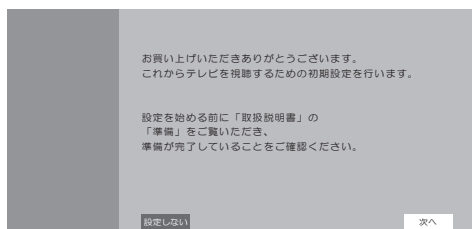
かんたん設定をする

かんたん設定のしかた

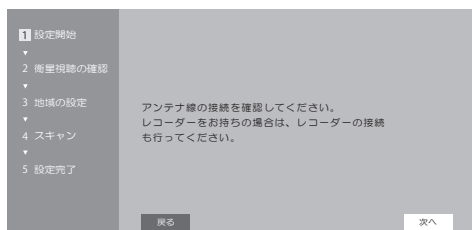
テレビを設置してアンテナ線と電源コードを接続したら、
テレビ放送を視聴するために、[かんたん設定]を行ってください。

1 電源を入れる

2 画面の案内にしたがって[かんたん設定]を行う



[次へ]を選び、**決定**を押す



[接続確認]
アンテナの接続とレコーダーの
接続を確認する

[次へ]を選び、**決定**を押す



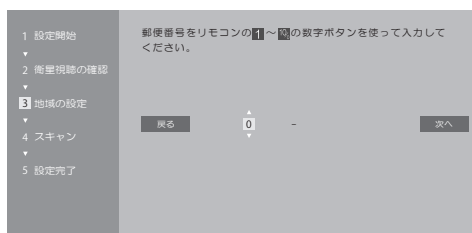
[BS/CS放送 BS4K/CS4K放送の
視聴確認]

視聴する場合、[視聴する]を選び、

決定を押す

[次へ]を選び、**決定**を押す

※ [しない]を選択した場合は、
郵便番号設定へ進みます。



[郵便番号設定]

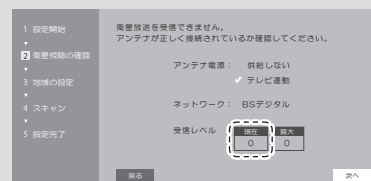
1 ~ **10** で郵便番号を入力

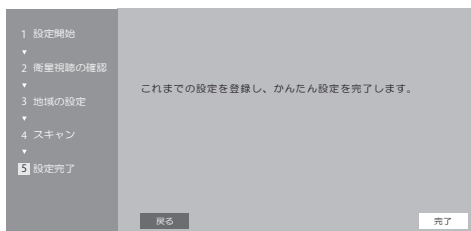
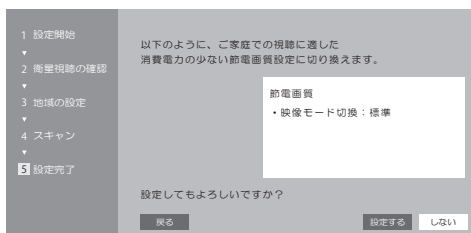
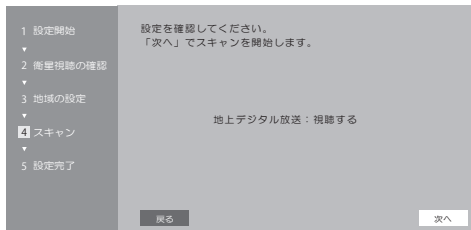
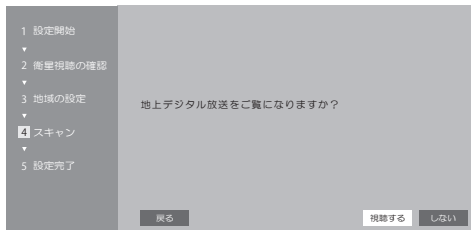
※ 0は **10** で入力します。

[次へ]を選び、**決定**を押す

ポイント

● 次の画面が表示されたら、受信レベルの現在値が[26]以上になるようにアンテナの接続を調整してください。





[地上デジタル放送の視聴確認]
視聴する場合、[視聴する]を選び、**決定**を押す

※ [しない]を選択した場合は、
[節電画質設定]へ進みます。

[チャンネルスキャン]
[次へ]を選び、**決定**を押すと、
チャンネルスキャンが開始します

※ チャンネルのスキャンは
約2分かかります。

[節電画質設定]
節電画質を設定する場合は、
[設定する]を選び、**決定**を押す



● 節電画質設定に切り換えると、消費電力が抑えられます。

設定完了
[完了]を選び、**決定**を押す

基本的な使いかた

テレビを見る

①リモコンボタンを使う

- 1 地デジ BS CS 4K で放送波を選ぶ
- 2 1 ~ 12 または  で番組を選ぶ

②番組表から見る

- 1  を押す（番組表が表示）
- 2 ▲▼◀▶で番組を選び、 を押す
- 3 [見る]を選び、 を押す

接続した機器の映像を見る

- 1  を押す
- 2 ▲▼で外部機器を接続している入力を選び、 を押す

※  を何度か押すことでも入力を切り換えられます。
※     を押して入力を切り換えることもできます。

録画した番組を見る

詳しくは→P41

- 1  を押す（録画一覧が表示）
- 2 見たい番組を選び、 を押す

録画した番組を消去する

詳しくは→P40

- 1  を押して録画一覧を表示させる
- 2 消去したい番組を選び、 を押す
- 3 [消去する]を選び、 を押す

録画する

詳しくは→P36

番組を視聴中に  を押す

録画を中止する

- 1  を押す
- 2 [停止する]を選び、 を押す

録画予約する

詳しくは→P36

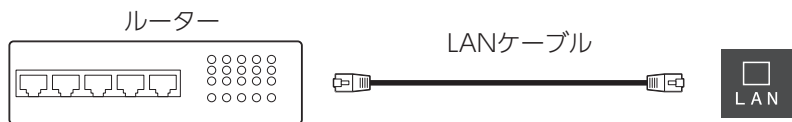
- 1 地デジ BS CS 4K で放送波を選ぶ
- 2  を押し、番組表を表示させる
- 3 ▲▼◀▶と  で録画する番組を選ぶ
- 4 ▲▼◀▶で[録画予約]を選び、 を押す

通信設定をする

通信設定のしかた

ネットワークに接続すると、双方向データ放送や独立データ放送などを楽しむことができます。

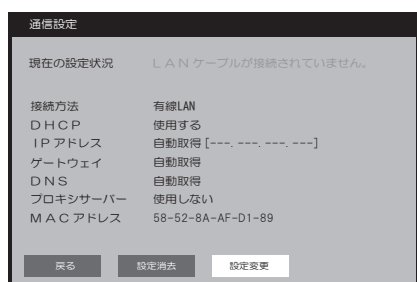
- ・本製品背面のLAN端子と、ネットワークにつながった㊦マークのあるルーターなどのLANポートを、LANケーブルで接続します。



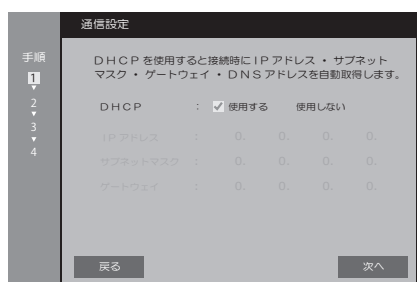
- ・LANの接続後、以下の「ネットワーク接続の設定」を行ってください。

■ ネットワーク接続の設定

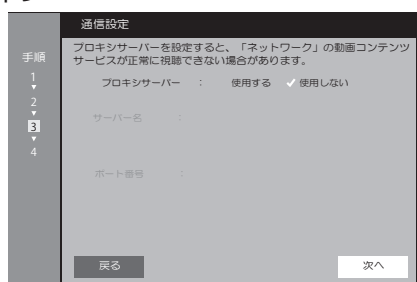
- 1 **メニュー**を押してメニューを表示し、**▲▼**で[設定]を選び、**決定**を押す
- 2 **▲▼**と**決定**で[設置設定]>[通信設定]の順に進む
- 3 **◀▶**で[設定変更]を選び、**決定**を押す



- 4 DHCP: **◀▶**で[使用する]を選び、**決定**を押し、[次へ]で**決定**を押す



- 5 プロキシサーバー: **◀▶**で[使用しない]を選び、**決定**を押し、[次へ]で**決定**を押す



- 6 [完了]を選び、**決定**を押すと設定が完了します

👉 ポイント

- [設定消去]を選ぶと現在の通信設定を消去できます。

👉 ポイント

- DHCPはIPアドレスを自動的に割り当てる機能です。[使用しない]を選ぶ場合は、「手で通信設定をする」→P23を参考にして手動で設定してください。通常はDHCP:[使用する]でお使いください。
- ルーターのDHCP機能がOFFの場合、DHCP:[使用しない]にし、プロバイダーから指定されたIPアドレスを手動設定してください。

👉 ポイント

- プロキシサーバーを[使用する]場合、「プロキシサーバーを設定する」→P24を参考にしてください。

👉 ポイント

- 操作を終了する場合は、**メニュー**を押してください。

■ 手動で通信設定をする

1 「ネットワーク接続の設定」 → P22 の手順3まで行う

2 IPアドレスを入力する

通信設定

DHCP を使用すると接続時に IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNS アドレスを自動取得します。

DHCP : 使用する ☒ 使用しない

IP アドレス : 0. 0. 0. 0.

サブネットマスク : 0. 0. 0. 0.

ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0.

戻る 次へ

DHCP : ◀▶ で[使用しない]を選び、

決定 を押す



ポイント

- DHCPを使用しないで、IPアドレスを手動設定する場合、他の接続機器とIPアドレスが重複しないようにしてください。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。

通信設定

DHCP を使用すると接続時に IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNS アドレスを自動取得します。

DHCP : 使用する ☒ 使用しない

IP アドレス : 0. 0. 0. 0.

サブネットマスク : 0. 0. 0. 0.

ゲートウェイ : 0. 0. 0. 0.

戻る 次へ

▲▼でIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイを選び、リモコンの **1** ~ **10₀** でそれぞれ入力する

! お願い

- 設定後、本製品に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID 部分がそれぞれ同じであることを確認してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

3 DNSを設定する

プロバイダーより指定されている場合はDNSの設定を行います。

通信設定

プロバイダーより設定されている場合は設定してください。

DNS : ☒ 使用する ☐ 使用しない

DNS アドレスプライマリ : 0. 0. 0. 0.

DNS アドレスセカンダリ : 0. 0. 0. 0.

戻る 次へ

DNS : ◀▶ で[使用する]を選び、

決定 を押す

※ プロバイダーからの指定がない場合は、[使用しない]を選んでください。

通信設定

プロバイダーより設定されている場合は設定してください。

DNS : ☒ 使用する ☐ 使用しない

DNS アドレスプライマリ : 111. 0. 0. 0.

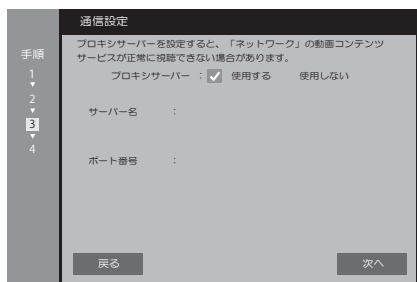
DNS アドレスセカンダリ : 0. 0. 0. 0.

戻る 次へ

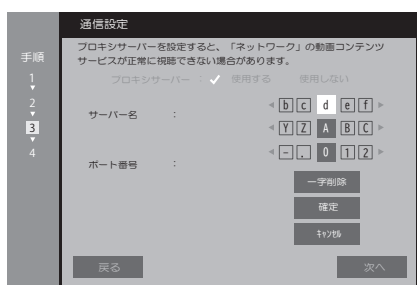
▲▼で[DNSアドレスプライマリ]または[DNSアドレスセカンダリ]を選び、リモコンの **1** ~ **10₀** でそれぞれ入力する

[次へ]を選び、決定 を押す

4 プロキシサーバーを設定する



プロキシサーバー：◀▶で[使用する]
を選び、決定を押す



▲▼◀▶と決定で文字の種類や文字
を選び、[サーバー名]と[ポート番号]
を入力する

※ 入力を確定するときは、▲▼で
[確定]を選び、決定を押してくだ
さい。

[次へ]を選び、決定を押す



ポイント

- 入力した文字を削除したい場合、
▲▼で[一字削除]を選び、決定を
押してください。

5 [完了]を選び、決定を押す

メニュー

メニューについて

設定メニューからテレビの各種設定を変更できます。

■ メニュー画面

画面下部のガイド表示にしたがって操作してください。



ガイド表示

- ・現在選択している項目の操作案内が表示されます。
(選択している項目によって表示される内容が異なります)

メニューの使いかた

■ メニューの基本操作

1 **メニュー** を押して[メニュー]を表示する

2 **▲▼**でメニュー項目を選び、**決定**を押す

3 **▲▼**で設定する項目を選ぶ

4 画面下部のガイド表示にしたがい、**▲▼◀▶**と**決定**で設定する

ガイド表示

メニュー	設定	映像設定
番組表・予約	映像設定 ▶	映像モード切換 : 鮮やか
録画一覧	音声設定 ▶	画面の明るさ : + 30
テレビ操作	機器設定 ▶	コントラスト : + 30
HDMI 機器操作	設置設定 ▶	暗部調整 : 0
お知らせ	設定初期化 ▶	色の濃さ : 0
設定		色あい : 0
		色温度 : 高
		輪郭強調 : 0
		詳細調整 ▶
		設定の初期化

メニュー	テレビ操作
番組表・予約	3桁入力選局
録画一覧	画面サイズ : フルピクセル
テレビ操作	オフタイマー : 切
HDMI 機器操作	オンタイマー
お知らせ	消音
設定	サービス切換 : テレビ
	映像切換 :
	外付ハードディスク取外し

ポイント

- [HDMI機器操作]は、リンク対応機器をHDMI接続し、設定メニューの[HDMI連動]が「入」のときに選択できます。 →P31

ポイント

- メニュー項目を選び直すときは、**戻る**を押してください。
- [メニュー]を終了する場合は、**メニュー**を押してください。

番組表・予約



ポイント

- リモコンボタンの **地デジ** **BS** **CS** **4K** で設定したい放送波を選んでから[メニュー]を表示してください。

番組表

番組表を表示します。番組表からは録画の予約や視聴予約ができます。

表示形式切換

番組表に表示するチャンネルを切り換えます。
※ サブチャンネルや契約した有料放送チャンネルを表示させる場合は、全チャンネルを選択してください。

設定内容
全チャンネル・代表チャンネル

ジャンル検索

番組をジャンルで検索するときに使います。

予約一覧

予約一覧を表示します。録画予約や視聴予約した番組の確認や予約の編集・取り消しができます。

日時指定予約

日時を指定して番組の録画予約ができます。

録画一覧

録画一覧

録画一覧を表示します。録画一覧では、録画した番組の確認や再生、消去などができます。 →P40

テレビ操作

3桁入力選局

3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

画面サイズ

視聴番組に応じた画面のサイズを設定できます。

設定内容
標準・フルピクセル・ダイナミック・シネマ・字幕イン・ズーム

オフタイマー

設定した時間が経過後、自動的に電源が切れます。

設定内容
30分・60分・90分・120分・切

オンタイマー

設定した時刻に自動的に電源が入ります。

設定項目	設定内容
オンタイマー	入・切
曜日	毎日・毎週（任意の曜日）・毎週（月）～（金）・毎週（月）～（土）
時刻	時刻（時）・時刻（分）
チャンネル	任意の受信チャンネルを選択
音量	0～60
自動電源オフ	30分後・60分後・90分後・120分後

消画

映像を消して、音声のみ出力することができます。

サービス切換

テレビやデータ放送など複数のメディアを受信しているときにメディアを切り換えられます。

映像切換

映像が複数ある番組を視聴している場合、映像を切り換えられます。

外付ハードディスク取外し

接続している外付けUSBハードディスクを安全に取り外せます。ハードディスクの電源を切るとき、ハードディスクを取り外すときに行います。

HDMI機器操作



ポイント

- リンクに対応している機器とHDMI接続し、[機器設定]>[HDMI連動設定]>[HDMI連動]で[入]になっているときに設定できます。 →P31

操作パネル／セットアップメニュー／録画リスト

接続している機器の操作パネル、セットアップメニュー、録画リストをそれぞれ表示します。

ドライブ切替

接続している機器のメディアを切り換えます。

電源

接続しているレコーダーの電源を切ります。

スピーカー選択

接続している外部アンプとの連動操作を設定します。
※ HDMIコントロール対応アンプ接続時のみ選択できます。

お知らせ

テレビからのお知らせ

受信機に関するお知らせを表示します。
(例：録画の失敗や変更など)

放送メール

受信契約済みの放送局からのメッセージを表示します。

CSボード

110度CSデジタル放送局から送られてくる情報掲示板を表示します。タイトルを選ぶと内容を確認できます。

CAS情報

ACAS番号（モジュールID）を表示します。
※ 放送事業者のカスタマーセンターに不具合を問い合わせるときに必要な番号です。

アンテナ受信レベル

アンテナの受信状態を確認できます。アンテナ接続を変更した場合、受信レベルを確認しながら調整してください。
※ 放送波が【BS】【CS】【4K】の場合、アンテナ電源の供給についての項目が表示されます。 →P32

機器情報

ソフトウェアバージョンを確認できます。

設定

設定に関する詳細は →P29 を参考にしてください。

設定

テレビに関する各種設定ができます。

[メニュー]>[設定]から設定メニューに入り、各項目を設定してください。[メニュー]を表示するには、**メニュー**を押してください。

→P26

映像設定

映像モード切換

シーンに合わせた映像モードを設定できます。

設定項目	設定内容
標準	映像や音声の設定を標準値にします。
映画	コントラストを抑えて、暗い映像を見やすくします。
PC※	PCのモニターとして使う場合の設定です。
鮮やか	色鮮やかな設定で、スポーツ番組などにおすすめです。

※ HDMI1 ～ 3 (入力1 ～ 3) に入力切換しているときのみ

画面の明るさ

画面の明るさを調整します。

設定内容
-30 ～ 0 ～ +30

コントラスト

明るいところを暗く（またはより明るく）します。

設定内容
-30 ～ 0 ～ +30

暗部調整

暗いところをより暗く（または明るく）します。

設定内容
-30 ～ 0 ～ +30

色の濃さ

色を濃く（または淡く）します。

設定内容
-30 ～ 0 ～ +30

色あい

色を赤っぽく（または緑っぽく）します。

設定内容
-30 ～ 0 ～ +30

色温度

色温度を高くすると青白く、低くすると赤みがかった白に設定できます。

設定内容
高・中・低

輪郭強調

輪郭をくっきり（または柔らかく）させます。

設定内容
-30 ～ 0 ～ +30

詳細調整

映像に関してより細かく手動設定できます。

設定項目	設定内容
超解像	解像度を高めて映像をより高精細にします。(強・中・弱・切)
ガンマ補正	映像の階調バランスを設定します。(強・中・弱・切)
色補正	特定の色を鮮やかに補正します。(モード1・モード2・切)
コントラスト補正	シーンに応じて自動でコントラスト補正をします。(強・中・弱・切)
映像輪郭補正	映像の輪郭を補正します。(強・中・弱・切)
色にじみ補正	色にじみを補正します。(強・中・弱・切)
MPEGノイズ低減	MPEGノイズを少なくします。(強・中・弱・切)
ブロックノイズ低減	ブロックノイズを少なくします。(強・中・弱・切)
3次元ノイズ低減	3次元ノイズを少なくします。(強・中・弱・切)
デジタルシネマ	映画ソフトの映像処理を最適にします。(自動・切)

設定の初期化

調整した映像設定を初期化します。

音声設定

音声モード切換

シーンに合わせた音質モードを設定できます。

設定項目	設定内容
標準	低域から高域までフラットで聴きやすい音質になります。
音楽	低域と高域が強調され、よりくっきりとした音質になります。
映画	サラウンドがONになり、より臨場感のある音質になります。

高音／低音／バランス

スピーカーの高音、低音、バランスを設定します。

設定内容
-6 ～ 0 ～ +6

サラウンド

音の広がりを補正します。

設定内容
入・切

設定の初期化

調整した音声設定を初期化します。

ヘッドホン設定

ヘッドホンの高音、低音、バランスを設定します。

設定項目	設定内容
ヘッドホン 高音	高音を調整します。 (-6 ～ 0 ～ +6)
ヘッドホン 低音	低音を調整します。 (-6 ～ 0 ～ +6)
ヘッドホン バランス	バランスを調整します。 (-6 ～ 0 ～ +6)
ヘッドホン 設定の初期化	ヘッドホン設定を初期化します。 (する・しない)

デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子やHDMI2（ARC対応）入力端子に接続した機器が対応する信号形式を設定できます。

設定内容
自動・PCM

※ 新4K衛星放送の音声信号（MPEG4-AAC）には対応していないため、[自動]で設定してもPCM出力となります。

機器設定

節約設定

節電に関する設定ができます。

設定項目	設定内容
無操作電源オフ	3時間無操作が続くと電源を切る設定です。(入・切)
無信号電源オフ	10分間映像入力がないときに電源を切る設定です。(入・切)
USB HDD待機	外付けUSBハードディスクが運転していないときに待機状態にします。(入・切)

制限設定

各制限を設定できます。

設定項目	設定内容
視聴制限設定	視聴年齢の制限を設定します。
本体操作部ロック	マルチ操作ボタンでの操作を制限します。(入・切)
リモコンキーロック	リモコンボタンでの操作を制限します。

外付ハードディスク一覧

外付けUSBハードディスクの登録削除・初期化ができます。

HDMI連動設定

HDMI連動に関する設定をします。

設定項目	設定内容
HDMI連動	HDMI接続した機器とのHDMI連動を制御します。(入・切)
テレビ電源入連動	本製品の電源を入れたときにHDMI接続した機器の電源を入れます。(入・切)
テレビ電源切連動	本製品の電源を切ったときにHDMI接続した機器の電源を切ります。(入・切)
HDMI機器入連動	HDMI接続した機器の電源を入れたときに本製品の電源を入れます。(入・切)

画面設定

画面位置やサイズを調整できます。

設定項目	設定内容
垂直位置調整	画面の垂直位置を調整します。 (-5 ~ 0 ~ +5)
水平幅調整	[画面サイズ] →P27 が[標準][ダイナミック]のときに映像の水平幅を調整します。
ID-1判定	ビデオ入力時の画面サイズを自動で切り換えます。(入・切)

入出力設定

入出力に関する設定ができます。

設定項目	設定内容
入力スキップ設定	外部入力のスキップ設定ができます。 ・ビデオ (する・しない) ・HDMI1 ~ 3 (する・しない)
HDMI3音声入力設定	HDMI3にPC入力を接続したときのテレビ音声をビデオ入力端子のアナログ音声端子に切り換えます。(入・切)
HDMI RGBレンジ設定	HDMI入力された映像のダイナミックレンジの範囲を設定します。 ・HDMI1 ~ 3 (自動設定・フルレンジ・リミテッド)
HDMI 4K入力信号設定	接続するHDMI機器に合わせて、4K映像の出力モードやHDRの設定をします。 ・HDMI1 ~ 3 HDMI画質 (通常・高画質) HDR再生設定 (入・切) ※ 4K入力は[高画質]、2K以下は[通常]を選択してください。

高速起動

電源を入れたときにより早く映像や音声を出力できます。
※ [入]に設定すると[切]設定時より、待機時の消費電力が増えます。

設定内容
入・切

設置設定

かんたん設定

かんたん設定ができます。 →P19

設定内容
衛星視聴の確認
地域の設定
スキャン
設定完了

チャンネル設定

チャンネルに関する設定ができます。

設定項目	設定内容
地上デジタル自動	チャンネルスキャンを実行し、受信できるチャンネルを自動で設定します。
地上デジタル手動	リモコンのチャンネルボタンに任意のチャンネルを割り当てられます。
地上デジタルチャンネルスキップ	チャンネルボタンで番組を選ぶとき、スキップするチャンネルを設定できます。
地上デジタル番組表設定	番組表に表示させないチャンネルを設定できます。

受信対象設定

受信しない放送波を無効に設定できます。

設定内容
無効にする・しない

アンテナ設定

アンテナの受信レベルが確認できます。

※ 放送波が【BS】【CS】【4K】の場合、アンテナ電源の供給の設定ができます。

設定項目	設定内容
アンテナ電源	供給する・テレビ連動 ※BS/CS/4Kのみ

地域設定

放送を受信する地域の設定をします。

設定内容
地域選択

郵便番号設定

放送を受信する地域の郵便番号を設定します。

設定内容
郵便番号設定

通信設定

ネットワーク通信に関する設定をします。 →P22

設定項目	設定内容
現在の設定状況	設定消去・設定変更
DHCP	使用する・使用しない
DNS	使用する・使用しない
プロキシサーバー	使用する・使用しない

自動ダウンロード

本製品のソフトウェアを自動で最新の状態に更新します。

設定内容
入・切

自動チャンネル再設定

電源を切ったとき、受信チャンネルを自動で更新します。

設定内容
入・切

設定初期化

各種設定内容の初期化ができます。

設定項目	設定内容
映像設定初期化	すべての映像設定を初期化します。
音声設定初期化	すべての音質設定を初期化します。
ヘッドホン設定初期化	ヘッドホン設定を初期化します。
設定情報リセット	すべての設定を初期化します。

録画準備

外付けUSBハードディスクを接続して登録すると、番組を録画・再生することができます。

ポイント

- パソコンやほかのテレビで使用していた外付けUSBハードディスクを本製品に接続して登録すると、保存していたデータはすべて消去されます。
- 外付けUSBハードディスクは精密機械であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。本製品に接続した外付けUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 本製品で使用していた外付けUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本製品で録画した番組はすべて消去されます。
- 外付けUSBハードディスクの動作中は、ハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。

■ 録画用ハードディスクを接続する

- ※ USB2.0端子（サービスサポート用）はサービス専用のため使用できません。
- ※ 本製品に接続できる外付けUSBハードディスクについては、**→P51** に記載の一覧表を参考にしてください。
- ※ ハードディスクは機器に付属の専用のACアダプターを接続してご使用ください。専用ACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。

外付けUSBハードディスクが1台のとき

- ・ テレビ本体の電源を「切」にして、外付けUSBハードディスクをUSB3.0端子（録画用）に接続してください。



外付けUSBハードディスクが複数台のとき

- 本製品はUSBハブを使用することはできません。
- 複数の外付けUSBハードディスクを使用するときは、録画・再生したい外付けUSBハードディスクをUSB3.0端子（録画用）に直接接続してください。
- ※ 8台までUSBハードディスクを本製品に登録できます。

ポイント

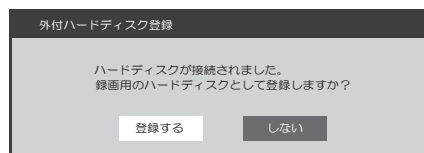
- 別の外付けUSBハードディスクに交換するときは、「外付けUSBハードディスクの取り外しかた」 **→P35** の操作を行ってからUSB3.0端子（録画用）に接続してください。
- 登録の手順については、「本製品に登録されていない外付けUSBハードディスクを初期化・登録する」 **→P34** をご覧ください。

■ 本製品に登録されていない外付けUSBハードディスクを初期化・登録する

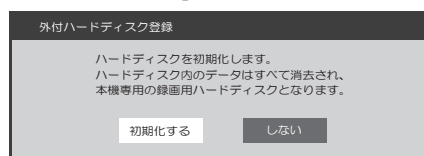
1 外付けUSBハードディスクを本製品に接続し、本製品と外付けUSBハードディスクの電源を入れる

※ USBハードディスクの登録画面が表示されます。

2 ◀▶で[登録する]を選び、決定を押す



3 ◀▶で[初期化する]を選び、決定を押す



4 [了解]で決定を押す

■ 登録を削除する

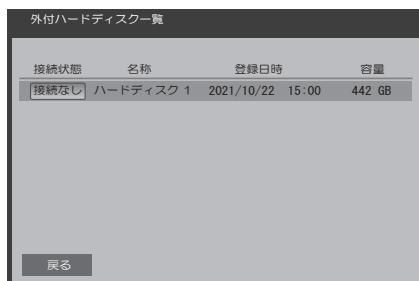
！ お願い

- 8台までUSBハードディスクを本製品に登録できます。8台登録された状態で新しく外付けUSBハードディスクを登録する場合は、いずれかの登録済み外付けUSBハードディスクの登録を削除してください。
- 本製品に登録していない外付けUSBハードディスクは録画や再生ができません。
- 接続している外付けUSBハードディスクを登録解除する場合、先に必ず[外付ハードディスク取外し]を行ってから登録解除してください。
- 再登録する場合は、本製品で初期化をしてください。初期化時にハードディスクの内容はすべて削除されます。

1 メニューを押してメニューを表示し、▲▼で[設定]を選び、決定を押す

2 ▲▼と決定で[機器設定]>[外付ハードディスク一覧]の順に進む

3 登録削除したい機器を選び、決定を押す



4 [登録削除]を選び、決定を押す



👉 ポイント

- 1度登録された外付けUSBハードディスクについては、次からは本体操作画面は出ません。自動的に接続されます。

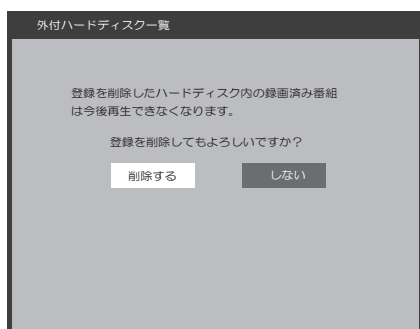
！ お願い

- 初期化中に外付けUSBハードディスクや本製品の電源を切ったり、外付けUSBハードディスクを取り外したりしないでください。ハードディスクが故障する原因になります。

👉 ポイント

- 新しく外付けUSBハードディスクを登録する場合は、「外付けUSBハードディスクを初期化・登録する」(上記)の手順で登録してください。

5 ◀▶で[削除する]を選び、決定を押す



■ 外付けUSBハードディスクを省エネ設定にする

省エネ設定にすることで、使用していない状態が続いた外付けUSBハードディスクを待機状態にすることができ、消費電力を抑えられます。

- 1 Xにユ-を押してメニューを表示し、▲▼で[設定]を選び、決定を押す
- 2 ▲▼と決定で[機器設定]>[節約設定]>[USB HDD待機]の順に進む
- 3 ▲▼で[入]を選び、決定を押す



■ 外付けUSBハードディスクの取り外しかた

❗ お願い

- 本製品や外付けUSBハードディスクの電源を切ったり、外付けUSBハードディスクを取り外したりする前に、必ず[外付ハードディスク取外し]の操作を行ってください。
- 取り外し中に外付けUSBハードディスクや本製品の電源を切ったり、外付けUSBハードディスクのケーブルを抜かないでください。ハードディスクが故障する原因になります。

- 1 Xにユ-を押してメニューを表示し、▲▼で[テレビ操作]を選び、決定を押す
- 2 ▲▼で[外付ハードディスク取外し]を選び、決定を押す
- 3 [取外し]を選び、決定を押す



録画する

■ 録画の基本的な設定

視聴中の番組を録画する



- 1 地デジ BS CS BS/CS 4K を押し、録画する番組の放送波を選ぶ
- 2 1 ~ 12 または チャンネル で録画する番組を選ぶ
- 3 録画 を押して、録画する
 - ・番組が終わる前に録画を止めたい場合は、停止 を押し、画面の指示にしたがってください。

ポイント

- [リモコンキーロック]または[受信対象設定]で[無効にする]を設定しているときは、放送を切り換えられません。→P31、32

ポイント

- アンテナの受信状態が悪くなった場合、録画を自動的に停止する場合があります。
- チャプターマークは録画中、10分ごとに記録されます。

番組表で録画予約する



- 1 地デジ BS CS BS/CS 4K を押し、録画する番組の放送波を選ぶ
- 2 番組表 を押し、番組表を表示させる
- 3 ▲▼◀▶ で予約したい番組を選び、決定 を押して番組内容を表示させる
- 4 [録画予約]を選び、決定 を押して録画予約する
 - ・予約すると予約アイコンが表示されます。
 - ・他の予約と予約時間が重複している場合は画面にメッセージが表示されます。画面の指示にしたがってください。
- 5 [了解]を選び、決定 を押す

ポイント

- [リモコンキーロック]または[受信対象設定]で[無効にする]を設定しているときは、放送を切り換えられません。→P31、32

ポイント

- 外付けUSBハードディスクが接続されていないときは録画予約できません。
- 録画禁止の番組は視聴予約のみ予約できます。

■ 繰り返し予約する

1 「番組表で録画予約する」 →P36 の手順で、繰り返し予約したい番組を録画予約設定する

2 **メニュー** を押してメニューを表示し、**▲▼**で[番組表・予約]を選び、**決定**を押す

3 **▲▼**で[予約一覧]を選び、**決定**を押す
・ 予約一覧が表示されます。

4 **▲▼**で繰り返し予約したい予約を選び、**決定**を押す

予約一覧		残量: 41時間00分 (4K番組: 24時間36分)	登録数	2 件
B S 4 K	001 C 0 0 3 _2 K 録画	2/21 (火) PM 6:57-PM 7:02		
B S 4 K	001 C 0 0 3 _2 K 録画	PM 7:02-PM 7:07		

・ 予約編集画面が表示されます。

5 **◀▶**で[繰り返し録画]を選び、**▲▼**で[1回のみ]・[毎週録画する]・[毎日録画する]のいずれかを選び、**決定**を押す

予約編集	
B S 4 K 001 2/21 (火) PM6:57-PM7:02 S H V C 0 0 3 _2 K 録画 録画予約あり	
録画予約の変更、取り消しをすることができます。	
繰り返し録画	他の予約と重複した場合
☒ 1回のみ	☐ 優先する
☐ 毎週録画する	☒ 優先しない
☐ 毎日録画する	
戻る	予約取消

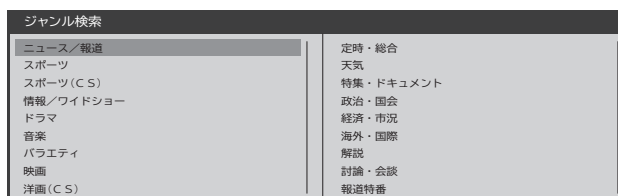
6 **▲▼◀▶**で[戻る]を選び、**決定**を押す

ポイント

● **予約一覧**を押しても、予約一覧を表示できます。

■ ジャンルを指定して録画予約する

- 1 **メニュー**を押してメニューを表示し、[番組表・予約]を選び、**決定**を押す
- 2 **▲▼**で[ジャンル検索]を選び、**決定**を押す
- 3 **▲▼◀▶**で検索したいジャンルを選び、**決定**を押す



- 4 **◀▶**で検索したい番組を選び、**決定**を押す

予約一覧					1/200件
地上デジタル	BS	CS1	CS2	BS4K	CS4K
4	001	ニュース四国団		2/21(火)	AM 10:25~AM 11:30
1	001	ニュース四国団		AM 11:30~AM 11:55	
1	001	気象情報		AM 11:54~PM 0:00	
4	001	気象情報		AM 11:55~PM 1:55	
1	001	スポーツ		PM 0:00~PM 0:15	
1	001	関西のニュース 団		PM 0:15~PM 0:20	
1	001	ニュース団		PM 1:00~PM 1:05	
1	001	手話ニュース団		PM 1:05~PM 1:10	

・ 番組内容が表示されます。

- 5 [録画予約]に合わせて **決定** を押す
- 6 [了解]を押す

■ 録画中の番組を再生する

- 1 録画中に **再生** を押す

早戻し/早送り再生する場合

後追い再生中に **早戻し** または **早送り** を押す

※ボタンを押すたびに、4段階の速度変更ができます。



- 番組の途中にチャプターマークが付いている場合でも、最初から視聴することができます。

■ 予約の確認・取り消し・変更

1 を押してメニューを表示し、▲▼で[番組表・予約]を選び、 を押す

2 ▲▼で[予約一覧]を選び、 を押す

- ・ 予約一覧が表示されるので、以下の手順にしたがってそれぞれの操作を行ってください。

3 予約を確認するとき

▲▼で確認したい番組を選び、 を押す

予約一覧		残量: 41時間00分 (4K番組: 24時間36分)		登録数 2 件	
B S 4 K	001	C 0 0 3 _ 2 K	2/21(火) PM 6:57-PM 7:02		
B S 4 K	001	C 0 0 3 _ 2 K	PM 7:02-PM 7:07		

予約を取り消すとき

① ▲▼で予約を取り消したい番組を選び、 を押す

② ▲▼◀▶で[予約取消]を選び、 を押した後、

◀▶で[はい]を選び、 を押す

予約編集

予約一覧

B S 4 K
B S 4 K

登録数 2 件

57-PM 7:02
02-PM 7:07

予約編集

SHV 001 2/21 (火) PM6:57-PM7:02

SHV C 0 0 3 _ 2 K

録画予約あり

予約を取り消しますか?

はい

いいえ

予約を変更するとき

① ▲▼で予約を変更したい番組を選び、 を押す

② ◀▶で変更する項目を選び、▲▼で内容を選ぶ

予約編集

予約一覧

登録数 2 件

SHV 001 2/21 (火) PM6:57-PM7:02

SHV C 0 0 3 _ 2 K

録画予約あり

録画予約の変更、取り消しをすることができます。

繰り返し録画

他の予約と重複した場合

✓ 一回のみ

優先する

毎週録画する

✓ 優先しない

毎日録画する

戻る

予約取消

※ 変更できる項目は次の通りです。

- ・ 繰り返し録画 (一回のみ・毎週録画する・毎日録画する)
- ・ 他の予約と重複した場合 (優先する・優先しない)

4 終了するときは、[戻る]を選び、 を押す

ポイント

- を押しても、予約一覧を表示できます。

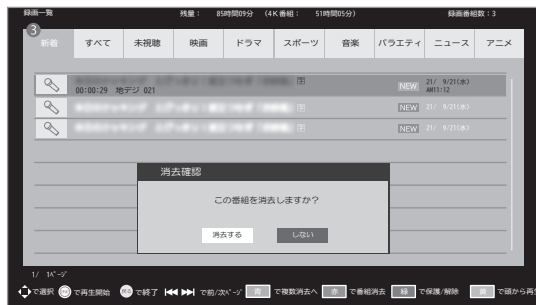
ポイント

- 予約している番組が多い場合、▲▼でページ送りができます。

■ 録画した番組を消去する

1つずつ番組を選んで消去する

- 1 録画一覧を押して、録画一覧を表示させる。
- 2 ▲▼で消去したい番組を選び、赤を押す
- 3 ◀▶で[消去する]を選び、決定を押す

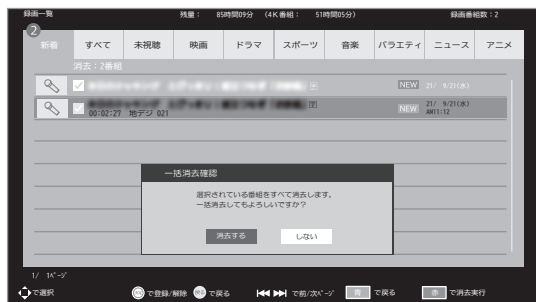


複数選択して消去する

- 1 録画一覧を押して、録画一覧を表示させる。
- 2 ▲▼で消去したい番組を選び、青を押す
- 3 ▲▼◀▶で消去したい番組を選び、決定を押す



- 4 赤を押す
- 5 ◀▶で[消去する]を選び、決定を押す



番組を保護する

- 1 録画一覧を押して、録画一覧を表示させる。
- 2 ▲▼◀▶で、保護または保護を解除したい番組を選ぶ
- 3 緑を押して、保護または保護を解除する



ポイント

- 消去中は本製品・外付けUSBハードディスクの電源を切らないでください。



ポイント

- 1回の操作で50タイトルまで選べます。
- 選ぶとチェックマークが付き、もう一度選ぶとチェックマークが消えます。

再生する

■ 録画した番組を見る



1 ●を押す

・録画一覧が表示されます。

2 ▲▼で見たい番組を選び、●を押す

- ・選んだ番組が再生されます。
- ・再生を止める場合  を押してください。



ポイント

- 録画している番組が多い場合、▲▼でページを切り換えられます。1ページにつき8タイトルまで表示されます。

■ 録画番組の再生に使用するリモコンボタン

録画番組を再生するときは、リモコンの録画・再生機能ボタンが使用できます。 →P10

ボタン	内容
	再生中に押すと、10秒戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
	再生中に押すと、30秒進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
	早戻し再生をします。(押すたびに早さが4段階に変わります)
	一時停止、早送り/早戻し再生中に押すと通常の再生に戻します。 ※放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
	再生中に押すと一時停止し、再度押すと再生します。
	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
	早送り再生をします。(押すたびに早さが4段階に変わります)
	再生中の番組の先頭にスキップします。再生後4秒以内に押した場合、1つ前のチャプターの先頭にスキップします。
	次のチャプターの先頭へスキップします。

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点をご確認ください。

まずはじめにご確認ください

電源が入らない場合

- ・電源プラグはコンセントに確実に接続されていますか？

リモコン操作ができない場合

- ・リモコンの乾電池は正しい極性（⊕ ⊖）で入っていますか？
- ・リモコンの乾電池が消耗していませんか？（消耗している場合は交換が必要）
- ・テレビのリモコン受光部に向けて操作していますか？
- ・リモコン受光部に直射日光や照明の強い光などが当たっていませんか？

映像や音声が出ない場合

- ・電源プラグやアンテナケーブル、外部接続機器が確実に接続されていますか？
- ・テレビや外部機器の電源は入っていますか？
- ・入力切換は合っていますか？
- ・音量は最小になっていませんか？ [消音]になっていませんか？
- ・ヘッドホンが接続されていませんか？

こんなときは異常ではありません

画面上に、赤や青、緑に点灯したままの点や点灯しない黒い点がある

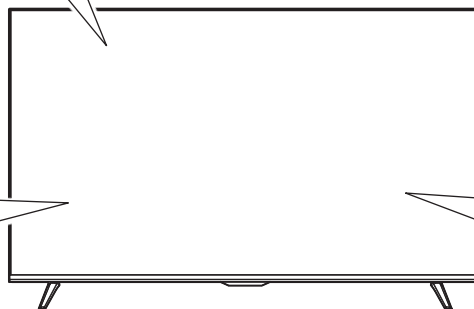
液晶パネルには、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

内部から「カチッ」という音がする

待機状態で番組情報取得などの動作時に、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

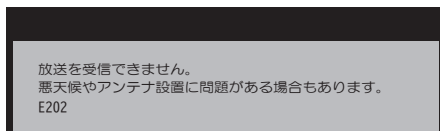
キャビネットから「ピシッ」という音がする

部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。



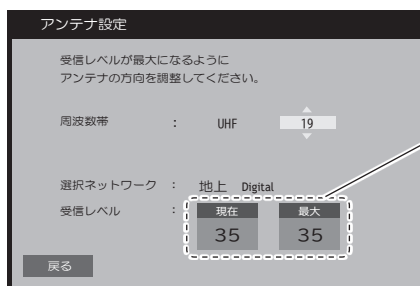
放送が受信できないときは

次のようなメッセージが画面に表示された場合、受信状態が悪いので手順にしたがって調整してください。



※ 画面は一例です。画面の指示にしたがって設定してください。

1 を押し、メニューの[設定]>[設置設定]>[アンテナ設定]で受信レベルを確認する



受信レベルが25以下のとき
アンテナ受信レベルが「26」以上になる
ようにアンテナの向きを調整する

2 放送を受信できるか確認する

- アンテナとの接続については、「アンテナの接続」  を参考にしてください。
- かんたん設定をやり直すときは、[メニュー] > [設定] > [設置設定] > [かんたん設定] でやり直してください。かんたん設定の詳細については、「かんたん設定のしかた」  をご覧ください。

アンテナがショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、上記のメッセージは表示されず、[アンテナ設定]の[アンテナ電源]の設定が[テレビ連動]に切り換わります。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある	● 液晶パネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がある	● 故障ではありません。
テレビ本体から「ピシッ」というきしみ音がする	● 部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに音が発生することがある	● 画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
本製品の内部から「カチッ」という音がする	● 電源が待機状態のときに、番組情報取得などの動作をするので、内部から「カチッ」という音が聞こえることがある	● 異常ではありません。
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
リモコンが操作できない	● リモコンを本製品のリモコン受光部に向けていない	● リモコン正面約8m以内の距離、左右30°／約6mの範囲で、本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。
	● 直射日光や照明の強い光がリモコン受光部に当たっている	● リモコン受光部に強い光を当てないでください。
	● 乾電池が消耗している	● 新しい乾電池に交換してください。→P11
	● 乾電池の極性（⊕ ⊖）が逆になっている	● 乾電池を正しく入れ直してください。→P11
突然電源が切れた	● オフタイマーを設定している	● オフタイマーの設定を「切」にしてください。→P27
	● 操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いている	● [節約設定]の[無操作電源オフ]や[無信号電源オフ]、[USB HDD待機]の設定を確認してください。
外部機器の映像が出ない	● 外部機器と正しく接続されていない	● 外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	● 電源が入っていない	● 電源を入れてください。
	● 入力切換が合っていない	● 入力切換で適切なものを選んでください。→P21
	● アンテナケーブルが正しく接続されていない	● アンテナケーブルの接続を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
映りが悪い、 映像や音声に ノイズが混じる、 映像や音声が出なくなることがある、 映像が静止することがある	● アンテナケーブルが正しく接続されていない ● アンテナの向きが、風や振動によって変わっている	● アンテナを調整し直し、確実に固定してください。
	● アンテナケーブルが劣化している	● 販売店にご相談ください。
	● 天候による電波の減衰や、強風時にアンテナが揺れている	● 雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声止まったり、場合によっては全く受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
色あいが悪い	● 映像メニューが映像と合っていない	● メニュー > [設定] > [映像設定] > [映像モード切換]で適切なものを選んでください。 →P29
	● 画質調整が正しくなされていない	● メニュー > [設定] > [映像設定]で各項目を適切な設定にしてください。 →P29
画面が暗い	● 明るさが正しく調整されていない	● [画面の明るさ]や[コントラスト]を調整してください。
テレビや 外部機器の 音が出ない	● 音量が最小になっている	● 音量+ボタンで音量を調整してください。
	● 「消音」状態になっている	● 消音 、または音量+ボタンを押して消音を解除してください。
	● ヘッドホンが接続されている	● ヘッドホンを抜いてください。
サウンドスピーカーを接続しても音が出ない	● デジタル音声のフォーマットが適切に選ばれていない	● メニュー > [設定] > [音声設定] > [デジタル音声出力]で[PCM]を選んでください。 →P30
ヘッドホンを接続しても音が出ない、音が小さい	● 音量が0、または小さくなっている	● 本体、またはリモコンの音量+ボタンで調整してください。
110度CSデジタル放送が受信できない	● 110度CSデジタル放送に対応したアンテナやケーブルが使われていない	● 110度CSデジタル放送に対応したアンテナやケーブルを使用してください。
110度CS 4Kデジタル放送が受信できない	● アンテナ・混合器・分波器・分配器などが、左旋のデジタル放送に対応したものになっていない	● アンテナ・混合器・分波器・分配器などを、左旋のデジタル放送に対応したものに交換してください。

状 態	考えられる理由	処 置
引っ越ししたら、 地上デジタル放送が 受信できなくなった	● 地域によって放送局のチャンネル が変わる	● [かんたん設定]をやり直してください。 メニュー > [設定] > [設置設定] > [かんたん設定] →P19
番組表が表示され ない、表示される チャンネルが少ない	● お買い上げ時、または長時間電源 を切った状態の後、番組表の表 示に時間がかかる場合がある	● しばらく視聴すると表示されます。
サブチャンネルが 表示されない	● チャンネルリストで1つの放送局 に1つのチャンネルだけが表示さ れるように設定されている	● [メニュー] > [番組表・予約] > [表示形式切換]で[全 チャンネル]を選んでください。→P27
USBハード ディスクが 認識されない	● 本製品に対応した外付けUSBハー ドディスクを使っていない	● 本製品で動作確認済みの機器をおすすめいたします。 動作確認済み機器については、P51を参考にしてく ださい。
	● 外付けUSBハードディスクが正し く接続されていない	● 外付けUSBハードディスクを正しく接続してくださ い。→P33
録画できない	● 外付けUSBハードディスクが本製 品に登録されていない	● 外付けUSBハードディスクを本製品に登録してくだ さい。→P34
	● 外付けUSBハードディスクの電源 が入っていない	● 電源オンが必要な外付けUSBハードディスクの場 合は、電源をオンにしてください。
	● 外付けUSBハードディスクの空き 容量が不足している	● 録画一覧で、不要な番組を選んで消去してくださ い。→P40
	● 録画できない映像である	● コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力か らの映像・音声は録画できません。
	● 4K映像に対応していないハード ディスクを使用している	● 4K映像を録画するためには、4K映像に対応したハー ドディスクが必要です。4K映像に対応したハード ディスクについては、P51を参考にしてください。
録画した番組が再 生できない	● 本製品以外で再生している	● 本製品で録画した番組は、本製品以外ではご覧にな れません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● 自分で分解・修理・改造し
ないでください。

お手入れ

・ 乾いた布で拭いてください。

※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後はから拭きしてください。

❗ お願い

- お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ベンジンやシンナーは使わないでください。化学ぞうきんの使用は、注意書きにしたがって使用してください。
- 殺虫剤や揮発性のあるものをかけないでください。
- ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの保護のため、パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
傷・変色の原因になります。
- 液晶パネルの表面に、結露による水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色むら・変色の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

システムアップデートについて

商品をより快適に使用いただくために、システムアップデートを行うことがあります。

- [メニュー]>[設定]>[設置設定]>[自動ダウンロード]で[入]にすると、システムのソフトウェアが常に最新の状態に更新されます。

→P32

- ネットワークに接続して使用している場合、ネットワークからもアップデートすることができます。

詳しくは以下のアイリスオーヤマサポートページをご覧ください。

URL : https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/products/tv/software_update.html



仕様

品名		4Kチューナー内蔵テレビ				
型番		LT-75D6210S	LT-65D6210B	LT-55D6210B	LT-50D6210B	LT-43D6210B
画面サイズ		75V型 (幅165.0×高さ92.8 ×対角189.3cm)	65V型 (幅142.9×高さ80.4 ×対角163.9cm)	55V型 (幅121.0×高さ68.0 ×対角138.8cm)	50V型 (幅109.6×高さ61.6 ×対角125.7cm)	43V型 (幅94.1×高さ52.9 ×対角108.0cm)
本体	寸法 (スタンド 取り付け時)	幅167.5×奥行30.4 ×高さ102.5cm	幅144.8×奥行29.0 ×高さ89.9cm	幅122.7×奥行28.0 ×高さ77.0cm	幅111.3×奥行28.0 ×高さ70.1cm	幅96.0×奥行18.0 ×高さ61.1cm
	質量	29.1kg	17.7kg	10.6kg	9.2kg	6.5kg
チューナー	受信 チャンネル	地上デジタル：UHF（13～62ch）CATVパススルー対応				
		BSデジタル：BS100～BS999				
		110度CSデジタル：CS001～CS999				
		BS 4K：001～499				
	チューナー数	110度CSデジタル4K：500～999				
画素数（水平×垂直）		地上デジタル×2 / BS・CSデジタル×2 / BS 4K・110度CS 4K×2				
画素数（水平×垂直）		3840×2160				
スピーカー	チャンネル	2チャンネル				
音声出力		10W+10W	12W+12W	10W+10W		8W+8W
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル×1 / BS・110度CSデジタル×1				
	HDMI端子	HDMI（Ver.2.0標準規格）×3				
	ARC対応 HDMI端子	HDMI2				
	HDMI対応入力 解像度	480p、720p（60Hz）、1080i（60Hz）、1080p（24Hz、30Hz、60Hz） 3840×2160p（24Hz、30Hz、60Hz）				
	音声出力	3.5mmステレオミニジャック×1				
		光デジタル音声出力×1				
	LAN	LANポート（RJ45）×1				
USB	USB3.0 端子（録画用）×1、USB2.0端子×1（サービスサポート用）					
データ放送		双方向データ放送（Broadcast Markup Language）対応				
番組表		電子番組表：9チャンネル8時間分表示／7チャンネル7時間分表示／ 6チャンネル6時間分表示／5チャンネル5時間分表示				
録画機能 ※ハードディスク（別売）の接続が 必要です。		録画予約可能 最大録画予約件数：32件 最大録画番組数：2000				
電源	電源電圧	AC100V 50/60Hz				
	定格消費電力	290W	200W	150W	150W	120W
	待機電力	0.5W				
	年間消費電力量	388.6kWh/年	231.7kWh/年	186.7kWh/年	152.6kWh/年	137.8kWh/年
	省エネ達成率	98%	136%	122%	142%	114%
使用環境		温度：0～40℃／湿度：20%～80% RH（結露なきこと）				
壁掛け金具（別売） ねじ穴寸法		600mm×400mm ねじ：M6×25mm ×4本	400mm×200mm ねじ：M6×25mm ×4本	200mm×200mm ねじ：M6×25mm×4本		200mm×200mm ねじ：M6×16mm ×4本
付属品		リモコン×1、リモコン用単4形乾電池(テスト用)×2、スタンド×2、スタンド固定用ねじ×4、 取扱説明書×1、保証書×1、電源コード×1、3IN1 AVケーブル×1、 転倒防止取り付けパーツ×2（※LT-75D6210Sのみ）、壁掛けねじ×2（※LT-75D6210Sのみ） スプーサー×2（※LT-75D6210Sのみ）				

リモコン

型番	LT-ARC12
電源	DC3V（単4形乾電池×2）
質量	約94g（乾電池含まず）
操作距離	約8m（直進）

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。
※ このテレビは日本国内専用です。海外では使用できません。

動作確認済み外付けUSBハードディスクについて

動作確認済み外付けUSBハードディスクは、次のアイリスオーヤマサポートページをご覧ください。

URL : https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/products/tv/hdd_compatible.html



ライセンス・商標などについて

ACCESS®

NetFront® Browser BE

本製品は株式会社ACCESSのNetFrontBrowserを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国
その他の国・地域における商標または登録商標です。
©2020ACCESS CO.,LTD.All rights reserved.

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

愛情点検



長年ご使用のテレビの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 電源を入れても、画像や音が出ないことがある
- 電源を切っても、画像や音が消えないことがある
- 内部に水や異物が入った

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ (通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

平日・土・日・祝日 9:00～17:00

(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



**スムーズにご相談
いただくために**

お問い合わせの前に製品の型番をお調べいただき、
取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。